

家庭用蓄電システム トライブリッド蓄電システム®

パワーコンディショナ + 蓄電池ユニット (4.9kWh)	:	ESS-T3S*
パワーコンディショナ + 蓄電池ユニット (7.4kWh)	:	ESS-T3M*
パワーコンディショナ + 蓄電池ユニット (9.9kWh)	:	ESS-T3L*
パワーコンディショナ + 蓄電池ユニット (14.9kWh)	:	ESS-T3X*
パワーコンディショナ + 蓄電池ユニット (12.0kWh)	:	ESS-T3F
パワーコンディショナ	:	ES-T3*
蓄電池ユニット (4.9kWh)	:	ES-T3S*
蓄電池ユニット (7.4kWh)	:	ES-T3M*
増設蓄電池ユニット (9.9kWh)	:	ES-T3L*
増設蓄電池ユニット (14.9kWh)	:	ES-T3X*
蓄電池ユニット (12.0kWh)	:	ES-T3F1
室内リモコン	:	ES-R6*

このたびは、ニチコン トライブリッド蓄電システムをお買い上げいただきまして
まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。

また、保証書とともに大切に保管してください。

本書はトライブリッド蓄電システム パワーコンディショナ+蓄電池ユニット、パワーコンディショナのみの内容を記述します。

パワーコンディショナのみの場合は、蓄電池ユニットに関する機能は利用できません。

V2Hシステムについては、V2Hシステム同梱の取扱説明書を参照してください。

パワーコンディショナ・蓄電池ユニット 取扱説明書

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できるところに必ず保管してください。

ここに示した事項は、△警告 △注意に区分しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う危険が想定される事項、および物的損害のみの発生が想定される事項。

絵表示については次のような意味があります。

	*必ずアース線を接続 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるように指示する表示		*感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
	*一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告		*分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	*一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示		

警告

	取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社に依頼する 適切な施工・処置がなされない場合、感電や火災のおそれがあります。		コンセントに金属、紙、水などを差し込んだり、中に入れたりしない 火災・感電・故障のおそれがあります。
	本製品（オプション品含む）を分解・改造しない 感電や傷害を負うおそれがあります。		本製品には、灯油やガスを用いた暖房機器、電熱機器など、火災を引き起こす可能性のあるものは接続しない 災害時に火災の原因になることがあります。 やむなく接続している場合は、停電時に自動で給電しない設定（46 ページ）にし、安全を確認しながらご利用ください。
	子供を近づけない 感電・やけど・火災のおそれがあります。		本製品には、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない 夜間や曇りなどで太陽光発電電力または蓄電池ユニットの電力が不足すると蓄電システムは停止し、家電製品の電源が切れますので、パソコンなどのデータが破損するおそれがあります。また、不安定な電源なので生命にかかわる機器（医療機器など）には絶対に使用しないでください。
	災害などにより本蓄電システムが浸水、水没、変形、破損、転倒などした場合、本蓄電システムに近づかない 感電、有害ガスの発生、発熱、発煙、発火、蓄電池からの電解液が漏れるなどの危険がありますので、「蓄電システムを停止させる場合」（48 ページ）に従って蓄電システムを停止させ、すみやかにお買い上げの販売会社にご連絡ください。		
	分電盤等各機器の端子台には触れない 感電のおそれがあります。		

警告



蹴ったりして強い衝撃を与えない
変形により短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。



吸排気口などに物（金属、紙、水など）を差し込んだり中に入れたりしない
火災・感電・故障の原因となります。



蓄電池ユニット、パワーコンディショナのフロントパネルなど機器を開けない
内部に電圧の高い部分があります。感電のおそれがあります。



お子様に操作させない
感電、やけど、火災のおそれがあります。



蓄電池ユニット、パワーコンディショナなど本製品（オプション品含む）の上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を置かない
機器が変形・脱落し、けが・感電・故障のおそれがあります。



蓄電池ユニット、パワーコンディショナの近くに可燃性ガスや引火物を置かない（60 cm 以内）
電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。



煙が出る、変なにおいがする場合は、本製品には近づかず、室内リモコンの各種設定画面上の「運転停止」をタッチし、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にする
そのまま使用すると、火災の原因となります。すみやかに買い上げの販売会社にご連絡ください。



蓄電池に高圧、大容量の電気が蓄えられているので、取り扱いに注意する
蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしても感電や傷害を負うおそれがあります。十分注意してください。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、充電中、給電中の本製品に近づかない
機器本体からの電磁波が、ペースメーカーおよび ICD の動作に一時的な影響を与える場合があります。

注意



本製品では、負荷によって使用できないものがある
ポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しないでください。



アース工事を行う（C 種接地工事 接地抵抗 500 Ω 以内）
アースが不完全な場合、感電のおそれがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アース工事については必ず買い上げの販売会社にご相談ください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない
製品の変色原因となります。



パワーコンディショナの吸排気口を塞いだり吸排気口付近に荷物を置いたりしない
温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。



ご利用中に室内リモコンの電源スイッチを OFF にしない
蓄電池が充電されないため使用できなくなり、電池交換（有償）となる可能性があります。



室内リモコンをぬれた手でさわる、ぬれた布でふくなどしない
感電の原因となることがあります。



蓄電池ユニット、パワーコンディショナの近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない
引火し、やけど・火災の原因となることがあります。



取扱説明書を熟読する
ご使用される前には取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。



本システムの近くでテレビやラジオ、無線などを使用しない
テレビの画面が乱れる、ラジオ、無線に雑音が入ることがあります。受信している電波が弱い場所では、電磁障害を受けるおそれがあります。



本システムや太陽光発電パネルの配線などから発生する電氣的雑音、近隣のアマチュア無線通信やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。



点検コードが連続的に表示されている状態のまま放置しない
蓄電池が充電されないため使用できなくなり、電池交換（有償）となる可能性があります。



ソフトウェアの更新が室内リモコンの画面に表示されたら、必ずすぐに更新する
ソフトウェアの更新にはインターネットへの接続が必要です。



落雪などでパワーコンディショナ吸排気口が塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲いなどの処置を行う
温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。



蓄電池ユニットの周りに毛布など置かないようにし、離隔距離を確保する
蓄電池が高温になり、動作が停止する、または寿命が短くなる可能性があります。



廃棄処理・リサイクルについて
使用後、すみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、買い上げの販売会社にお問い合わせください。廃棄費用はお客様負担となります。

使いこなしビデオマニュアルのご案内

トライブリッド蓄電システムの基本的な使い方から、お客様のご使用環境に合わせた使い方等を動画で解説しています。本書と合わせてご活用ください。

- トライブリッド蓄電システム[®]の概要と構成を知りたい
- 太陽光発電をできるだけ家庭内で使いたい
- 太陽光発電の余剰電力は売りたい
- 電気自動車（EV）を通勤などで頻繁に使いたい
- 電気自動車（EV）を早く充電したい
- 電気自動車（EV）を大きな蓄電池としてフル活用したい
- 停電時に電気自動車（EV）を最大限利用したい
- いざという時の停電にしっかりと備えたい
- 見守りサービスなどの便利なネットワークサービスを利用したい

URL : https://www.nichicon.co.jp/products/ess/system03/tribrid3_video_manual/top.html

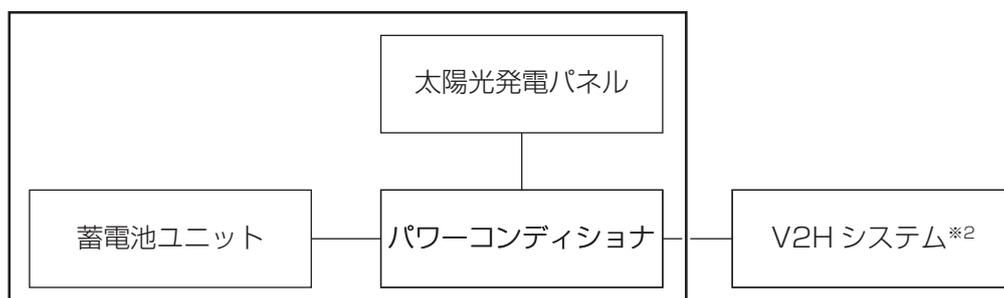


本書について

本書は、太陽光+蓄電池のシステム、太陽光のみのシステムの内容を記述します。V2H システムについては、V2H システム同梱の取扱説明書を参照してください。

本書で用いる用語は以下のとおりです。

- 車両 : 電気自動車やプラグインハイブリッド自動車など、駆動用に蓄電池を備えた自動車
- 外付け太陽光発電 : トライブリッド蓄電システムのパワーコンディショナに直接接続していない太陽光発電^{※1}
- 太陽光発電システム : トライブリッド蓄電システムと外付け太陽光発電を合わせた、住宅に設置された太陽光発電システム
- 電力会社から購入する商用電力
- 自動運転モード : 設定された時間帯の中で、家庭内への電力供給および蓄電池への充電を自動で行う動作
- 手動運転モード : 時間帯に関係なく、設定された時点で行う動作



本書の範囲

※ 1 : 外付け太陽光発電は、トライブリッド蓄電システムとは別の太陽光パワーコンディショナが必要です。

※ 2 : V2H システムについては、V2H システム同梱の取扱説明書を参照してください。

もくじ

電気の「家産家消」、もしもの「災害対策」	8
システムの概要	10
取り扱い上のお願ひ	11
外形寸法図 / 各部の名称	12
室内リモコン各部の名称とはたらき	
室内リモコンの本体について	13
室内リモコンの表示について	14
通常時の使い方	
蓄電池ユニットの各運転モードについて（連系時）	
自動運転モード	16
手動運転モード	17
蓄電池ユニットの運転モードを選ぶ（連系時）	18
蓄電池ユニットの充放電時刻を設定する	19
蓄電池ユニットの充電上限値・放電下限値を設定する	21
各グラフについて	23
グラフの表示方法	
グラフを表示する	24
グラフ期間を変更する	25
グラフの年、月、日を設定して変更する（日間表示の場合）	26
各種設定項目について	27
各種設定項目を選ぶ	29
点検コード・発電抑制の履歴を確認する	30
登録情報を確認・変更する	32
太陽光発電設定を確認する	34
停電時の使い方（自立運転）	
蓄電池ユニットの停電時運転モードについて	35
蓄電池ユニットの停電時運転モードを選ぶ（停電時）	36
停電時の家電製品の使用について	37
復電時の操作	38

ネットワークの設定

ネットワークの設定をする

ネットワークを使用する場合（有線）	39
ネットワークを使用する場合（無線）	40
ネットワークを使用しない場合	41

ネットワーク接続の通信状態を確認する 42

ニチコンのネットワークサービス 43

日時の設定 43

こんなときは

ブザー音や異音について

ブザー（ピピ音）が鳴ったとき	44
機器から発生する音について	44

動作がおかしいと感じたとき

ブレーカが頻繁に落ちる場合	44
契約電力を変更する場合	44
停電時に家電製品が使用できない場合	44
室内リモコンの画面が表示されない場合	44
100%まで充電できない場合	44
増設蓄電池ユニット（ES-T3L*/ES-T3X*）を後から増設した場合	45
太陽光発電電力が充電できない場合	45
夏季に充放電・発電動作が停止した場合	45
停電時に充放電できない場合	45
停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合	45

その他ご使用に関する操作方法等

停電時、安全を確認してから家電製品をご利用になりたい場合	46
長期不在の場合	47
蓄電システムを停止させる場合	48
蓄電システムを起動させる場合	49

蓄電システムを廃棄する場合 50

風水害または地震などの対応 50

低温時の動作について 50

点検コード（BExxx、BFxxx、BIxxx）が表示されたとき

点検コードのメッセージと処置	51
点検コード「BF405」について	52
点検コード「BF404」について	52
点検コード「BF306」について	52

点検コード (BCxxx) が表示されたとき	53
お知らせメッセージと内容	53
室内リモコンが動かなくなった時	54
蓄電池のメンテナンスモードについて	55
ソフトウェアの更新	
ソフトウェアの更新方法	57
更新中に停電した場合	58
保証とアフターサービス	
保証について	59
アフターサービスについて	59
補助金に関するご注意	
購入時に補助金の申請をする場合	59
遠隔出力制御ルールに関するご注意	60
仕様	
パワーコンディショナ	61
蓄電池ユニット	
蓄電池ユニットの充放電仕様について	62
室内リモコン	62
ソフトウェアライセンスについて	63
増設設置の可能期間	63

電気の「家産家消^{*1}」、もしもの「災害対策」

本製品は、住宅の屋根などに設置した太陽光パネルと蓄電池そして、V2Hシステムと車両を併用して、暮らしに必要な電気を供給する「トライブリッド蓄電システム[®]」^{*2}です。

多彩な太陽光発電と連携。蓄電池と太陽光のパワーコンディショナを一体化

パワーコンディショナ内に蓄電池の制御だけでなく、太陽光発電用のパワーコンディショナ機能を内蔵しており、幅広いメーカーの太陽光発電パネルを直接接続できます。

また、太陽光発電パネルで発電した直流電力を、直接蓄電池ユニットへの充電に利用できるため^{*3}、効率のよい電力利用が可能です。また、余剰分が発生した場合は交流変換し、電力会社に売電することもできます。

いつもの生活では「節約」！

昼間の太陽光発電電力を夜間に活用することで、エネルギーの自給自足に貢献します。(グリーンモード)

割安な深夜電力時間帯に充電、昼間の電力使用量ピーク時間帯に放電すれば、電気料金の節約になります。(売電モード)

日常のご使用には、ご家庭の環境やお好みに合わせた運転モードを選ぶことができます。(16 ページ参照)

もしもの停電時も「安心」！

本システムは非常時に備えて電力をバックアップします。

突然の停電でも本製品に接続している家電製品は、そのままご利用いただけます^{*4}。

- 昼間の晴天時は、太陽光発電と蓄電池ユニットを併用して電力供給します。
- 雨や曇りの日、夜間の停電でも電力を蓄えていた蓄電池ユニットから電力を供給します。
- AC100V、200V 機器合わせて、消費電力 3.5kW を目安に家電製品をご使用できます。
(定格出力・・・蓄電池のみのとき：最大 4.0kW^{*5}、4.0kW 以上太陽光発電している場合：最大 5.9kW)

室内リモコンを標準装備^{*6}

停電時でも操作できる室内リモコンを装備しています。

室内リモコンの画面で太陽光の発電電力、充電電力および放電電力が一目でわかります。

タッチパネルを採用しており、画面を見ながらボタンにタッチするだけで、簡単に操作できます。

見守りサービス^{*7,8}

お客様が長期にわたって安心してご利用いただけるように、インターネット経由で運転状態を無償でモニターします。詳しくは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

安心の 15 年保証

長寿命のリチウムイオン電池だから、長くご使用いただけます。

15 年間の保証付き^{*9}で、万が一のときも安心です。詳しくは、保証書の内容をよくお読みください。

※ 1：家で作った電気を家で使うことを指す当社の造語です。

※ 2：太陽光発電、蓄電池、車両の3つの電源を利用するシステムの総称で、ニチコンの登録商標です。

※ 3：太陽光の発電電力およびご家庭の消費電力によっては、蓄電池への充電電力が確保できない場合があります。

※ 4：停電時には、電力供給が一瞬途切れます。本製品に接続している家電製品の仕様によっては電源が切れますので、その時は電源を入れ直してください。電源が切れると支障がある機器は、本製品に接続しないでください。

なお、蓄電池ユニットがない場合は、太陽光が発電している場合に限り本製品をご利用いただけます。

※ 5：蓄電システムの型番により、最大出力電力が変わります。〔蓄電池ユニットの充放電仕様について〕(62 ページ) 参照

※ 6：本製品は必ずインターネットに接続してください。製品のソフトウェアを最新にするために、自動的にソフトウェアの更新を行うことがあります。

※ 7：インターネットに接続すると、ニチコン見守りサービスのサーバーに自動的に接続します。

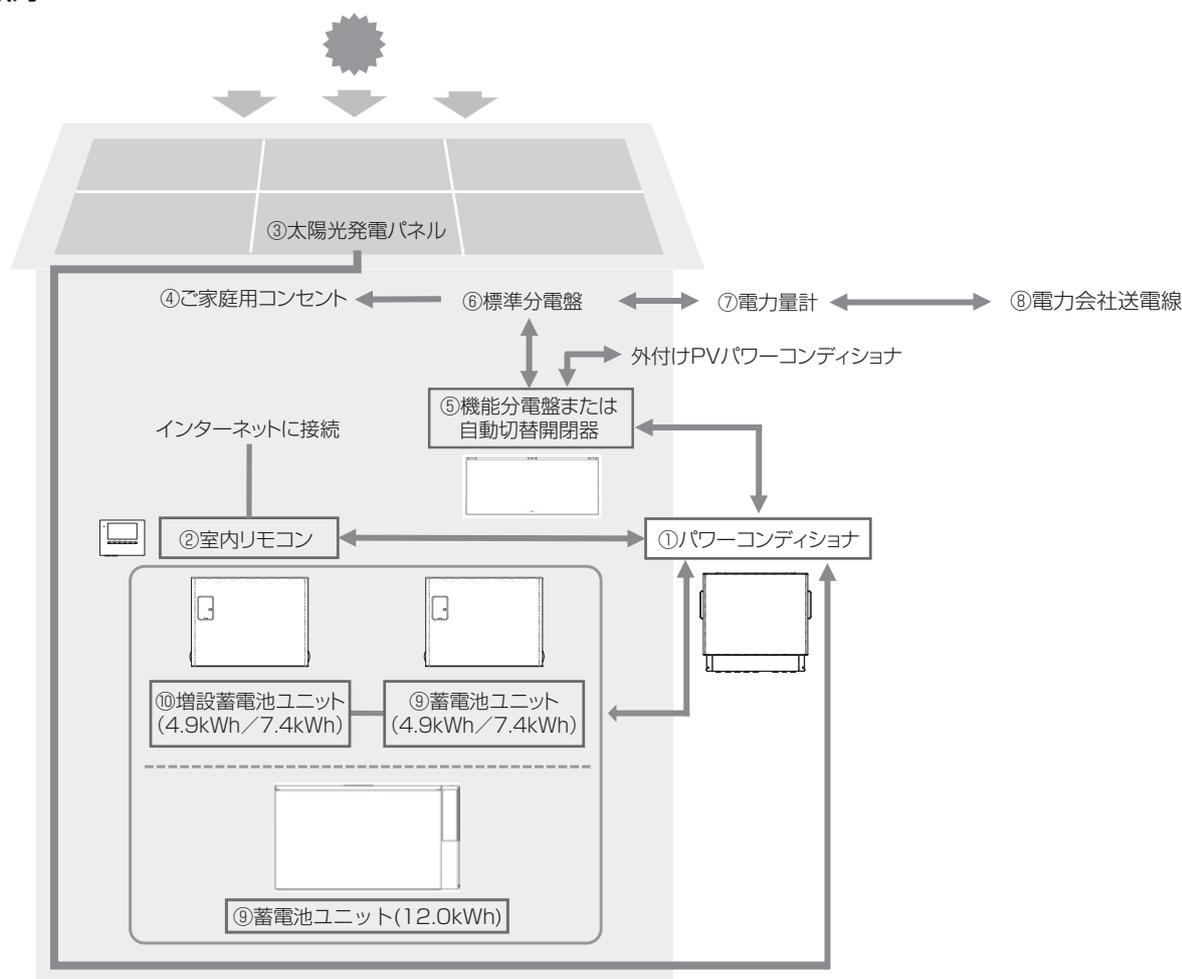
インターネットへの接続はお客様のネットワーク環境を利用します。インターネット回線契約・利用に伴う費用はお客様のご負担となります。

※ 8：本製品の保証期間中は見守りサービスの提供を保証します。

保証期間以降のサービスの提供については改めてお知らせいたします。

※ 9：室内リモコンは 5 年保証となります。

構成例



1. パワーコンディショナ

太陽光パネルの直接接続を可能にする太陽光発電用パワーコンディショナ・蓄電池ユニット用パワーコンディショナ機能を内蔵しています。最大4系統の太陽光発電回路を直接接続できます。

太陽光発電または系統の電力を蓄電池ユニットに充電できます。必要に応じて蓄えた電力を放電します。太陽光発電による余剰電力を電力会社へ送ります。(売電)

2. 室内リモコン

表示画面を備えた操作パネルです。充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

3. 太陽光発電パネル

パワーコンディショナに直接接続し、太陽光を受けて発電します。

4. ご家庭用コンセント

家庭負荷用の電源コンセントです。通常時だけでなく、停電時でも本システムから電力を供給できます。

5. 機能分電盤または自動切替開閉器

ご家庭用コンセントへの電力供給を自動的に切り替えます。通常時は系統と蓄電システム両方の電力を供給できますが、停電時には自動的に蓄電システムだけの給電となります。

- 機能分電盤は、連系運転用ブレーカ、蓄電システム用ブレーカおよび自動切替スイッチを内蔵しています。
- 自動切替開閉器は、切替スイッチの機能を有しています。蓄電システム用ブレーカのみ別途設置となります。

6. 標準分電盤

契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカおよび分岐ブレーカを内蔵しています。

7. 電力量計

買電用と売電用の2種類があり、電力会社から購入した電力(買電)と、電力会社に売る余剰電力(売電)を計量します。

8. 電力会社送電線

不足電力を電力会社から購入し(買電)、太陽光発電による余剰電力を電力会社へ送ります(売電)。

9. 蓄電池ユニット

リチウムイオン蓄電池とそれを監視コントロールするバッテリーマネジメントシステムで構成されています。パワーコンディショナを介して電力を蓄える、または蓄えた電力を放電します。

10. 増設蓄電池ユニット

リチウムイオン蓄電池とそれを監視コントロールするバッテリーマネジメントシステムで構成されています。蓄電池ユニットに対し、指定の組み合わせで蓄電池容量を増やすことができます。

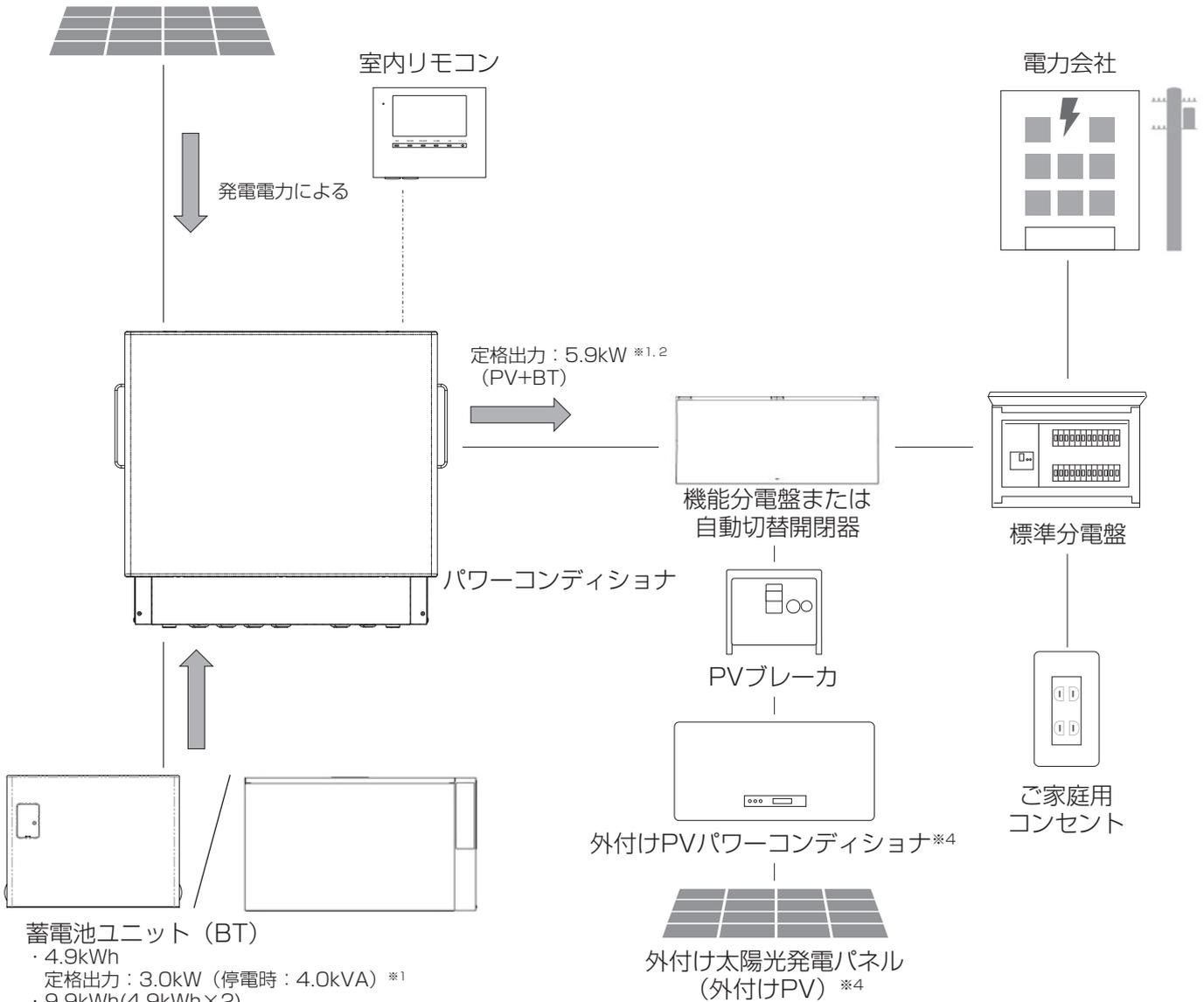
※充電：太陽光発電または系統の電力を蓄電池に蓄えること。

※放電：蓄電池に蓄えている電力を供給すること。

※給電：太陽光発電や蓄電池に蓄えられた電力をご家庭に供給すること。

システムの概要

太陽光発電パネル (PV) ※3, 4



蓄電池ユニット (BT)

- ・ 4.9kWh
定格出力：3.0kW (停電時：4.0kVA) ※1
- ・ 9.9kWh(4.9kWh×2)
定格出力：4.0kW (停電時：5.0kVA) ※1
- ・ 7.4kWh
定格出力：3.0kW (停電時：4.0kVA) ※1
- ・ 12.0kWh
定格出力：3.0kW (停電時：4.0kVA) ※1
- ・ 14.9kWh(7.4kWh×2)
定格出力：4.0kW (停電時：5.0kVA) ※1

※1：定格出力の表記はすべてパワーコンディショナ出力の値となります。

※2：パワーコンディショナからの出力は、太陽光発電電力を優先的に利用し、家庭内負荷に対し不足があれば蓄電池の電力を利用します。

※3：パワーコンディショナの定格出力（5.9kW）を超えた太陽光発電電力がある場合は、蓄電池が充電できる状態の時に限り、余剰分を蓄電池に充電します。

※4：パワーコンディショナの搭載容量を超える太陽光発電パネルを接続する場合は、外付けPVパワーコンディショナへの接続が必要です。

取り扱い上のお願い

共通

■次のような場所には取り付けない

パワーコンディショナ・蓄電池ユニット^{*1}(屋外設置)

- 屋内
- 標高 2000 m より高いところ
- 岩礁隣接地域
- 重塩害地域
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 油蒸気のあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 車両と接触するおそれや、排ガスが直接あたるところ
- 風通しが悪いところ
(物置、倉庫、シャッター付きの車庫を含む)
(パワーコンディショナのみ)
- 販売会社で決められていないところ
- 日射が長時間当たるところ(蓄電池ユニット^{*1}のみ)
- 結露および氷結のあるところ
- 次の温度範囲以外のところ
設置環境温度：-30℃～+45℃(パワーコンディショナ)
 -10℃～+45℃(蓄電池ユニット^{*1})
動作温度^{*3}：-20℃～+40℃(パワーコンディショナ)
 -10℃～+40℃(蓄電池ユニット^{*1})

室内リモコン・蓄電池ユニット^{*1,2}(屋内設置)

- 屋外
- 温度変化が激しいところ
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 直射日光が当たるところ
- 次の温度範囲以外のところ
設置環境温度：0℃～+40℃(室内リモコン)
 -10℃～+45℃(蓄電池ユニット^{*1})
 0℃～+40℃(蓄電池ユニット^{*2})
動作温度^{*3}：0℃～+40℃(室内リモコン)
 -10℃～+40℃(蓄電池ユニット^{*1})
 0℃～+40℃(蓄電池ユニット^{*2})



※1：蓄電池ユニット(ES-T3S*/ES-T3M*/ES-T3L*/ES-T3X*)を示します。

※2：蓄電池ユニット(ES-T3F1)を示します。

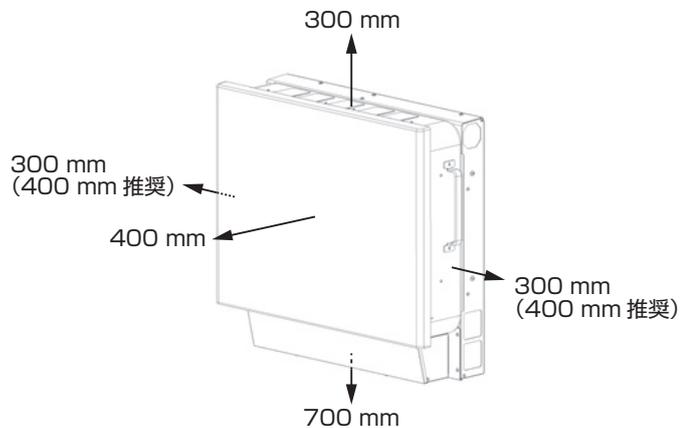
※3：動作温度範囲を超えると動作が停止したり出力が低下しますが、範囲内に戻ると自動復帰します。また、動作温度範囲内であっても充放電電力が低下する場合があります。

最低離隔距離

蓄電池ユニット、パワーコンディショナの周囲は、排熱とメンテナンスのために、以下の寸法以上の距離を確保してください。また、それらの妨げにならないよう、最低離隔距離範囲内には物を置かないでください。

<パワーコンディショナ(ES-T3*)>

- 左右：それぞれ 300 mm (400 mm 推奨)
- 上：300 mm
- 前：400 mm
- 下：700 mm



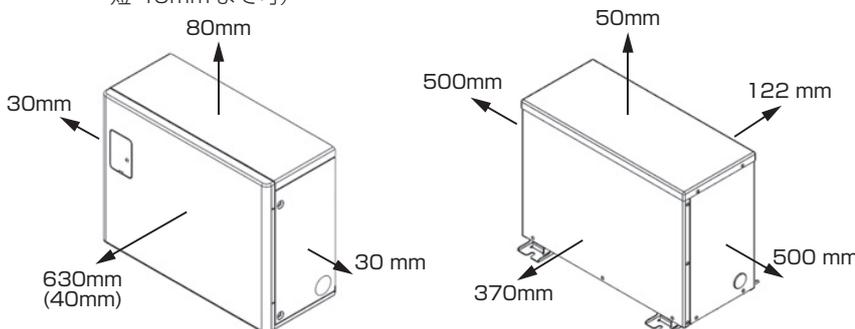
<蓄電池ユニット(ES-T3S*/ES-T3M*/ES-T3L*/ES-T3X*)>

● 屋内設置の場合

- 左右：それぞれ 30mm
- 上：80mm
- 前：630mm(扉などの開放により距離を確保できる場合は最短 40mm まで可)

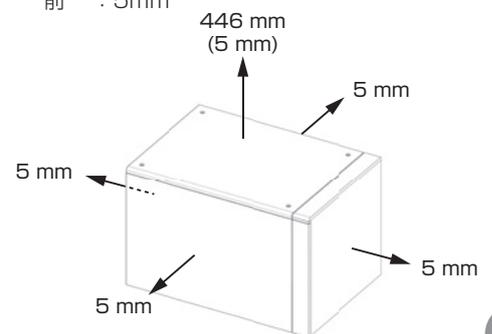
● 屋外設置の場合

- 左右：それぞれ 500mm
- 上：50mm
- 背面：122mm
- 前：370mm



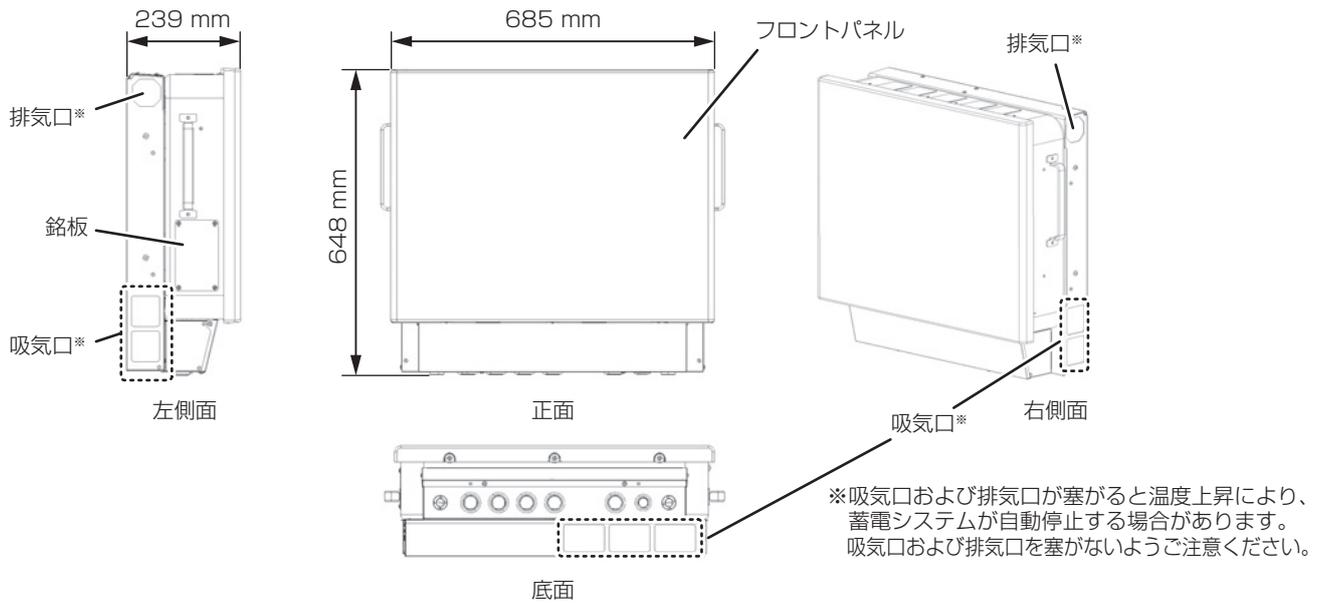
<蓄電池ユニット(ES-T3F1)>

- 左右：それぞれ 5mm
- 上：446mm(天井が取り外し可能な棚等であれば最短 5 mm まで可)
- 背面：5mm
- 前：5mm



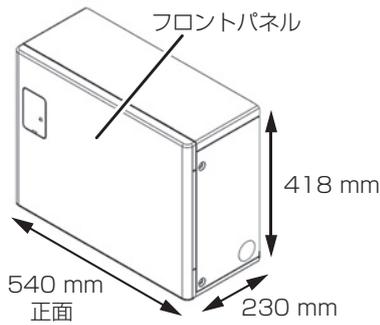
外形寸法図 / 各部の名称

■ パワーコンディショナ (ES-T3*)

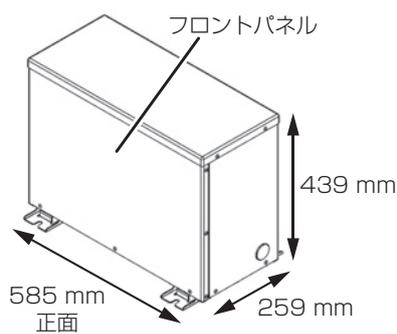


■ 蓄電池ユニット (ES-T3S*/ES-T3M*/ES-T3L*/ES-T3X*)

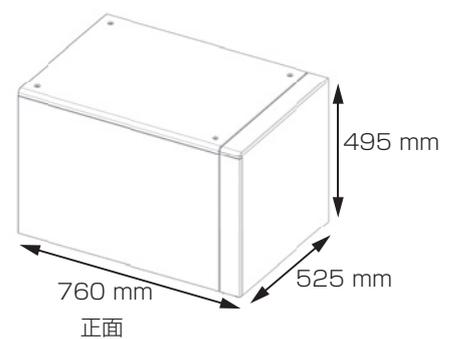
● 屋内設置の場合



● 屋外設置の場合

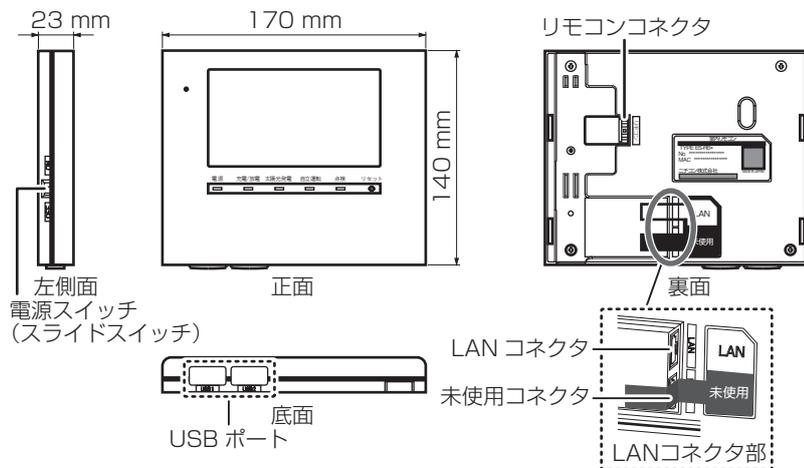


■ 蓄電池ユニット (ES-T3F1)



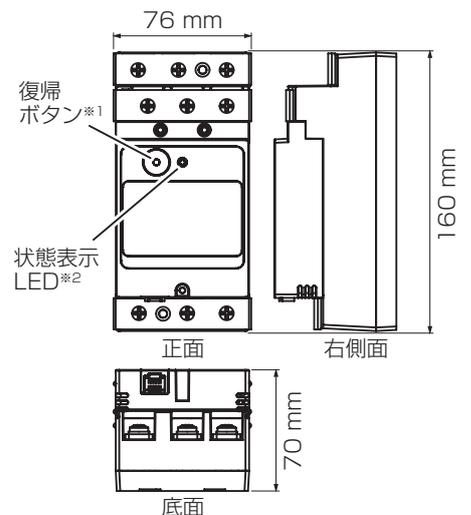
■ 室内リモコン (ES-R6*)

※室内リモコンの各部の名称とはたらきは、13 ページ参照



※未使用コネクタ部分は、本システムでは使用しません。何も接続しないでください。

■ 自動切替開閉器 (ES-B8T)



※1: 復帰ボタンを押す場合は 1 回のみ短押ししてください。

※2: LED で自動切替開閉器の状態を示します。

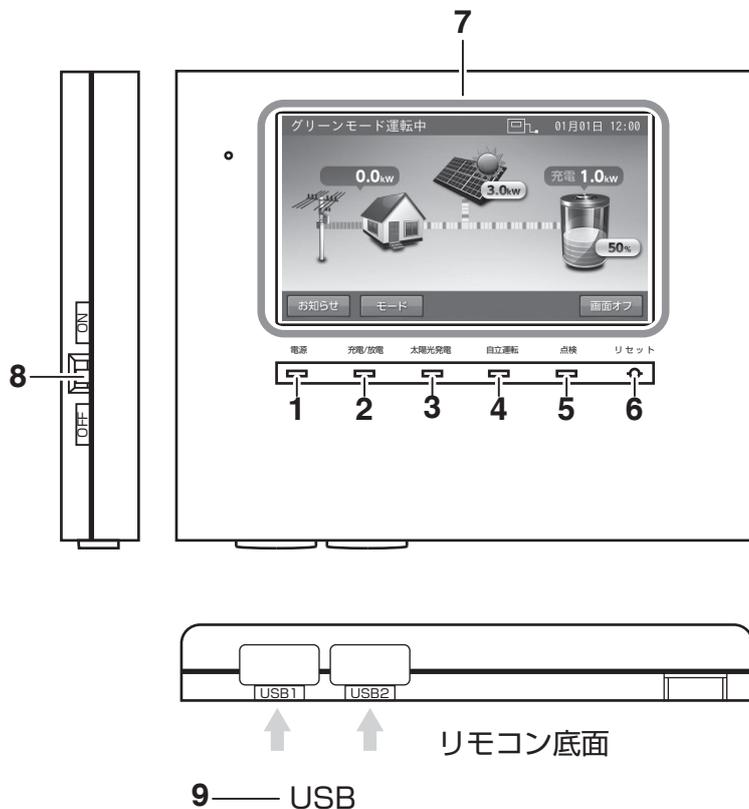
緑点灯: 系統運転
赤点灯: 自立運転
緑赤点滅 (0.2 秒間隔): 故障
緑赤点滅 (2 秒間隔): 診断中

室内リモコン各部の名称とはたらき

室内リモコンの本体について

本製品は、室内リモコンの画面をタッチしてさまざまな操作を行います。

※製品の構成や外付け太陽光パワーコンディショナの接続状況により、画面構成が異なります。



蓄電池ユニットがない場合、蓄電池アイコンおよびモードボタンは表示されません。

外形寸法図／各部の名称／室内リモコン各部の名称とはたらき

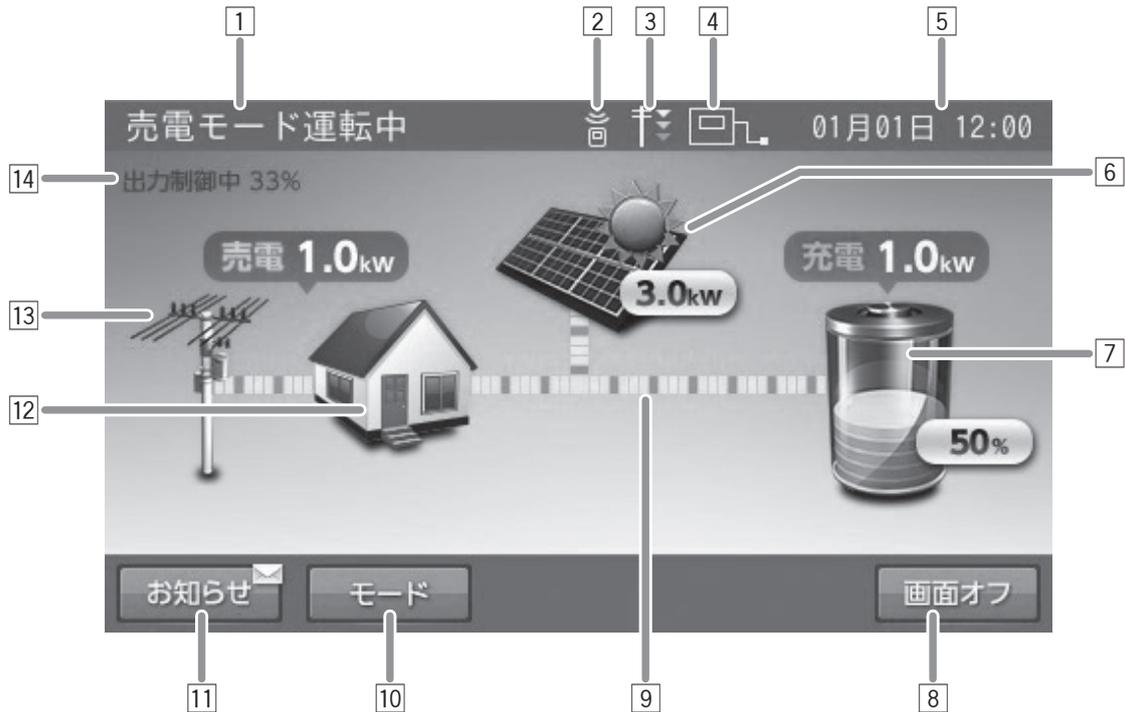
- 1. 電源ランプ**
室内リモコン ON 時に点灯します。
- 2. 充電 / 放電ランプ**
運転状態を表示します。
緑：充電 / 放電
消灯：待機 / 停止
※蓄電池ユニットがなく、太陽光パネルしか接続していない場合は、常に消灯となります。
- 3. 太陽光発電ランプ**
太陽光発電中に点灯します。
- 4. 自立運転ランプ**
自立運転中に点灯します。
- 5. 点検ランプ**
点検コード発生中に点滅します。(51 ページ)
- 6. リセットボタン**
室内リモコンのマイコンをリセットします。
- 7. 画面**
表示画面を兼ねたタッチパネルです。
充電・放電状態の表示や各運転モードを設定します。
- 8. 電源スイッチ (スライドスイッチ)**
室内リモコンの電源を ON/OFF します。
- 9. USB**
通常使いません。
無線 LAN 利用時には、無線 LAN 子機を接続します。

メモ

- 点検ランプが点滅しているときは、室内リモコンの画面に点検コードが表示されます。「点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx) が表示されたとき」(51 ページ) に従って処置してください。
- 蓄電システム運転中に、電源スイッチを「OFF」にしないでください。蓄電システムを停止したい場合は、「蓄電システムを停止させる場合」(48 ページ) の操作を行ってください。

室内リモコンの表示について

■ ホーム画面例



表示される電力値や残量は目安としてご利用ください。

1 運転モード

蓄電システムの現在の運転モードを表示します。

例：売電モード運転中

2 リモートアイコン

見守りサーバー、ECHONET Lite^{*1}、HEMS^{*2}など外部からの通信により運転しているときに表示されます。

通信状態ではないときは表示されません。

3 電圧上昇抑制アイコン

環境起因により電力会社側の電圧が上昇し、抑制が働いているときに表示されます。表示中は売電量が減る場合があります。

4 アンテナアイコン

室内リモコンと宅内ネットワークとの接続状況を表示します。

	有線 LAN 使用時に、ルーターと正常に接続しています。 ※ ルーターと接続していても、インターネットと接続しているとは限りません。
	有線 LAN 使用時に、ルーターと接続していません。
	無線 LAN 使用時に、ルーターと正常に接続しています。 ※ ルーターと接続していても、インターネットと接続しているとは限りません。 ※ ルーターとの電波強度は、4段階で表示します。
	無線 LAN 使用時に、ルーターと接続していません。

5 現在日時

現在の日時を表示します^{*3}。

6 太陽光パネルアイコン

タッチすると、太陽光に関する設定画面が開きます。

	太陽アイコン 内部の太陽光発電または外付け太陽光発電の電力が 100W 程度より大きい場合には、太陽光パネルアイコンに太陽アイコンを表示します。
	内部の太陽光発電電力を表示します。合算時は、内部の太陽光発電電力と外付け太陽光発電電力を合計して表示します。

7 蓄電池アイコン^{*4}

タッチすると、蓄電池に関する設定画面が開きます。

	放電中は緑色に、充電中は橙色に表示します。待機中および停止中、または充放電電力が 100W より低い場合は、直前の色を表示します。
--	---

蓄電池充放電電力^{*5}
蓄電池の充放電電力を表示します^{*6}。

蓄電池状態

放電：100W より大きい電力を放電している場合
充電：100W より大きい電力を充電している場合
待機：充放電を行っていない場合
充放電電力が 100W 未満の場合
表示なし：停止中

蓄電池残量
蓄電池の残量を表示します^{*7}。

8 画面オフボタン

ボタンをタッチすると、画面をオフにします。画面オフ時は、液晶画面のどこかをタッチすると、画面を再表示します。

次ページへ続く

- 9 **電力の流れ**
各機器間の電力の流れのイメージを破線で表示します。
- 破線非表示 : 100W 未満^{※8}
 - 動きの遅い破線: 100W 以上
 - 動きの速い破線: 1.0kW 以上

- 10 **モードボタン**^{※4}
タッチすると、運転モードに関する設定画面が開きます。

- 11 **お知らせボタン**
タッチすると、お知らせに関する画面が開きます。
-  未読がある場合に表示されます。

- 12 **家アイコン**
ご家庭内を意味します。
タッチすると、各種設定 / グラフに関する設定画面が開きます。

- 13 **電柱アイコン**
系統 (電力会社) を意味します。

 **売電 1.0kW** 売買電電力^{※5}
売買電電力を表示します^{※6}。

系統状態
買電、売電の状態を表示します。

- 14 **出力制御表示**
遠隔出力制御ルールに基づいて、電力会社による太陽光出力コントロールが行われるときに表示されます。
表示中は売電量が減る場合があります。

- ※1: 「ECHONET Lite」「エコーネットライト」は、エコーネットコンソーシアムの登録商標です。
 ※2: 「HEMS」は、Home Energy Management System の略です。家庭で使うエネルギーを賢く管理するシステムです。
 ※3: ネットワーク接続していない場合は、ご利用中に少しずつずれが発生しますので、定期的に時刻の設定を行ってください。
 ※4: 蓄電池ユニットがない場合は、表示されません。
 ※5: 他の機器 (HEMS など) の値とは異なる場合があります。目安としてご利用ください。
 ※6: 100W 未満の場合は、0.0kW と表示します。
 ※7: 一度使い切った電池がしばらくすると使える場合があるように、蓄電池特性により、しばらくすると表示が変わることがあります。目安としてご利用ください。
 ※8: 電力が小さい (100W 未満) 場合でも、センサーの誤差などにより、電力の流れが表示される場合があります。

通常時の使い方

蓄電池ユニットの各運転モードについて（連系時）

本製品では、以下の運転モードを選択することができます。

運転モード	設定できる運転モード	内容
自動運転モード	グリーンモード	太陽光の余剰電力を優先的に蓄電池ユニットへ充電するモードです。
	売電モード	太陽光の余剰電力を優先的に売電するモードです。
手動運転モード	蓄電池充電	時間帯に関係なく、蓄電池ユニットへ充電を行うモードです。

- 製品出荷時の設定は「グリーンモード」です。

自動運転モード

グリーンモード

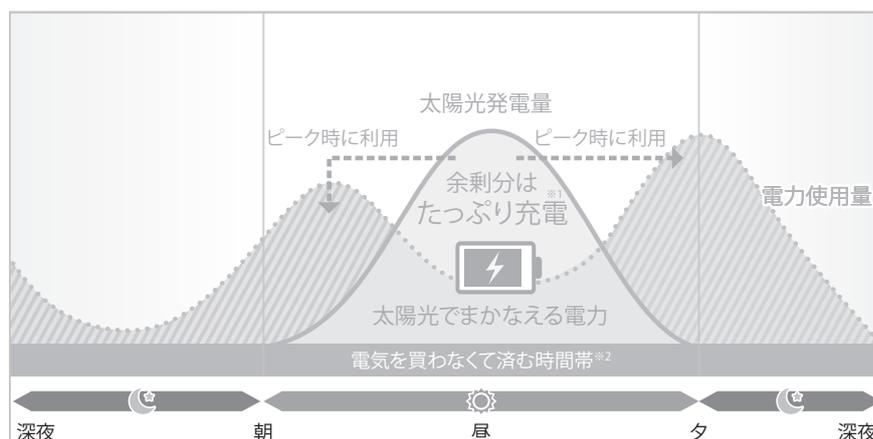
昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰分を蓄電池に充電します。

蓄えた電力を太陽光の発電電力で補えない場合に使うことで、電力会社からの購入電力を減らすモードです。夜間の電気料金が太陽光の売電価格より高い方にお勧めです。

太陽光発電電力が不足している場合や発電電力がない場合は、蓄電池ユニットから放電します。

蓄電池ユニットが満充電の場合は、余剰分を売電します。なお、売電中は蓄電池ユニットから放電しません。

外付け太陽光発電の余剰電力も余剰充電として利用できますが、余剰電力のうち 200W 程度は蓄電池への充電には利用せず、必ず売電となります。



※1：満充電後の余剰分は売電します。なお、蓄電池ユニットの充電電力の低下により、余剰電力の一部が充電できず売電される場合があります。

※2：ご家庭での電気使用量によって異なります。

※ 大容量の太陽光発電パネル接続時の余剰充電制御について

本製品では定格出力（5.9kW）を超える太陽光発電電力は、自家消費や売電に利用できませんが、蓄電池ユニットへ充電することが可能です。

定格出力を超える発電電力が発生した場合は、その分をできるだけ蓄電池ユニットに充電できるよう、余剰充電動作の制御を行います。

余剰充電制御は以下の条件によって動作します。

- 本製品に接続されている太陽光発電パネルの容量が 8.0kW 以上の場合、毎日制御を行います。太陽光発電パネルの容量が 8.0kW 未満の場合は、制御を行いません。
- 制御中は、発電量が多くなる昼頃から余剰充電を開始します。余剰充電の開始タイミングは、その日の正午付近を基準に本製品内で自動的に計算され、太陽光発電パネルの容量、制御開始時の蓄電池ユニットの残量によって日ごとに異なります。
- グリーンモードの放電停止時刻になると、その日の制御を終了します。

メモ

- 雨天・曇天時は十分な発電電力が確保できず、充電量が少なくなる場合があります。
- 制御開始時に蓄電池ユニットの残量が多いと余剰電力による充電時間が短くなり、電力契約によっては経済性が損なわれるおそれがあります。蓄電池ユニットの充放電時間帯（19 ページ）もしくは充電上限値（21 ページ）の設定を確認し、余剰充電できるよう電力会社の電力で充電する電量を抑える設定にしてください。
- 太陽光発電パネルを 8.0kW 以上接続されている場合に、グリーンモードから売電モードに変更すると、余剰充電制御が動作せず電力契約（深夜電力充電等）により経済性が損なわれる可能性があります。

次ページへ続く

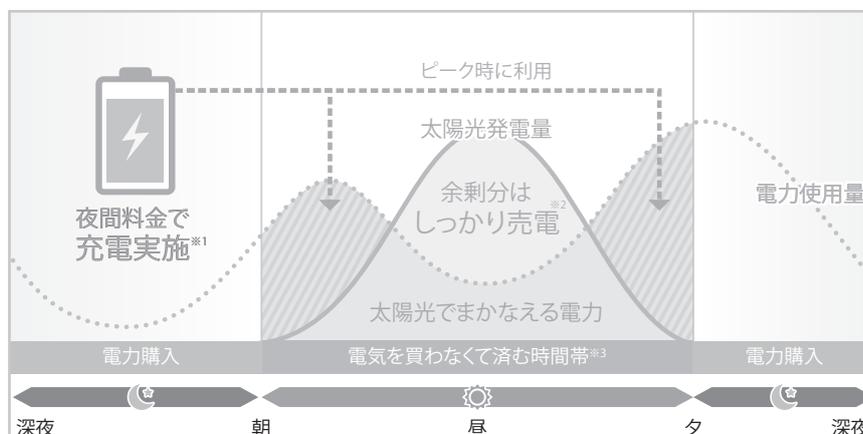
売電モード

昼間、太陽光発電電力を家庭内負荷に供給し、余剰分を売電します。

また、電気料金が割安な深夜時間帯に電力会社の電力から充電を行い、蓄電池ユニットからの放電を電気料金が割高な昼間に行うことで、電気料金の節約が可能になります。夜間の電気料金が太陽光の売電価格より安い方にお勧めです。

太陽光発電電力が不足している場合や発電電力がない場合は、蓄電池ユニットから放電します。

なお、売電中は蓄電池ユニットから放電しません。



※1：料金は電力会社やプランによって異なります。

※2：売電価格は年度ごとに決まりますので、詳しくはお買い上げの販売会社にお問い合わせください。

※3：ご家庭での電気使用量によって異なります。

メモ

- 太陽光発電がない場合は、グリーンモードおよび売電モードは同じ動作になります。
- 充放電時間帯の設定については、「蓄電池ユニットの充放電時刻を設定する」(19ページ)を参照してください。

※放電中の動作について

電力会社との取り決めにより、蓄電システムは放電中に微量電力を買電します。

メモ

- 太陽光発電システムと異なり、送電線へ電力を逆流させない決まりとなっています。
- 負荷容量が100W未満の場合および負荷容量と太陽光発電容量が均等になる場合は、室内リモコンの表示が放電と待機で繰り返し切り替わることがあります。
- 発電電力が多く、売電電力が定格出力を超える場合には、蓄電池ユニットが充電できる状態であれば、定格出力を超える電力を、自動的に充電します。

手動運転モード

蓄電池充電

時間帯に関係なく、蓄電池ユニットへ充電を行うモードです。

太陽光発電電力を優先的に使用して蓄電池ユニットへの充電を行います。太陽光発電電力が充電電力を上回っている場合は、家庭内負荷へ電力を供給します。さらに太陽光発電電力が、充電電力と家庭内負荷への両方の電力供給を上回った場合は、余剰分を売電します。

太陽光発電から蓄電池ユニットへの充電電力が不足する場合は、不足分を電力会社から電力を購入し充電します。

蓄電池ユニットが満充電になり次第、充電動作を終了し、待機状態になります。待機状態になってから6時間が経過した後、蓄電池充電が設定される直前の自動運転モードで動作します。

メモ

- 室内リモコンの電源OFF後、再度室内リモコンを起動した場合は、直前に設定されていた自動運転モードに切り替わります。
- 蓄電池ユニットの充電電力の低下により、太陽光発電電力の一部が充電できず売電される場合があります。

蓄電池ユニットの運転モードを選ぶ（連系時）

通常時の運転モードをお客様のお好みに合わせて選択してください。

- 通常は自動運転モードを選択してください。各運転モードの詳細は 16 ページを参照してください。
- 製品出荷時の設定は「グリーンモード」です。

1 「モード」をタッチする



「運転モード設定」画面に切り替わります。

メモ

蓄電池ユニットがない場合は、「モード」ボタンは表示されませんので、本設定を行うことはできません。

2 運転モードを選択し、「確定」をタッチする

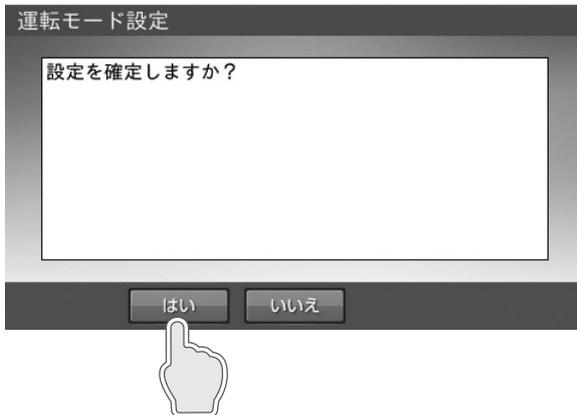


「売電モード」または「グリーンモード」、「蓄電池充電」を選択してタッチします。

メモ

モードの選択を変更した状態で「キャンセル」をタッチすると、「設定が変更されています。変更を破棄してホーム画面に戻りますか？」の確認画面を表示します。「はい」または「いいえ」をタッチすると、ホーム画面または運転モード設定画面に戻ります。

3 「はい」をタッチする



「ホーム」画面に戻ります。

メモ

「いいえ」をタッチすると、前の画面に戻ります。

蓄電池ユニットの充放電時刻を設定する

通常運転時の充電開始 / 停止時刻、放電開始 / 停止時刻を運転モードごとに設定できます。

- 製品出荷時の設定は次のとおりです。

	グリーンモード*	売電モード
充電開始時刻 / 停止時刻	01:00 ~ 01:01	01:00 ~ 05:59
放電開始時刻 / 停止時刻	01:02 ~ 00:50	06:00 ~ 00:50

充電開始時刻 / 停止時刻…電力会社の電力で蓄電池ユニットに充電するときの開始 / 停止時刻を設定できます。

放電開始時刻 / 停止時刻…蓄電池ユニットから放電するときの開始 / 停止時刻を設定できます。*

*：運転モードが「グリーンモード」設定かつ太陽光発電がある場合、太陽光発電電力の余剰分は放電時間帯に蓄電池ユニットに充電されます。なお、蓄電池ユニットの充電電力の低下により、余剰電力の一部が充電できず売電される場合があります。

- 充放電時間帯の合計は 23 時間 50 分以内としてください。
- 充放電時間帯が重複しないように設定してください。

メモ

- 売電モード利用時に充電時間帯を短く設定すると、蓄電池残量が 100% まで充電できない場合があります。
- グリーンモード利用時に充電時間帯を長く設定すると、昼間の太陽光発電電力による充電があまりできなくなります。夜間の電力会社の電力による充電で満充電にならないよう、充電時間を短く設定するか、充電上限値 (21 ページ) の設定をご利用ください。

1 「モード」をタッチする



「運転モード設定」画面に切り替わります。

2 「充放電時間帯設定」をタッチする



「充放電時間帯設定」画面に切り替わります。

3 設定したい運転モードをタッチする



選択した運転モードの充放電時間を設定します。
設定したモードの充電開始時刻 / 停止時刻、および放電開始時刻 / 停止時刻を確認し、変更したい項目の時刻をタッチします。

メモ

「売電モード」「グリーンモード」は、それぞれ別の時刻を設定できます。

4 「数値キー」をタッチする

■例：放電時刻



時刻を設定します。

数字キーをタッチすると、新しい時刻を入力できます。
← / → をタッチすると、カーソルが移動します。
カーソルがある位置で「消去」をタッチすると、入力文字を消すことができます。

メモ

- 「キャンセル」をタッチすると、充放電時間帯設定の画面に戻ります。
- 充放電時間帯の合計は 23 時間 50 分以内としてください。
- 充放電時間は重複して設定できません。

次ページへ続く

5 「決定」をタッチする



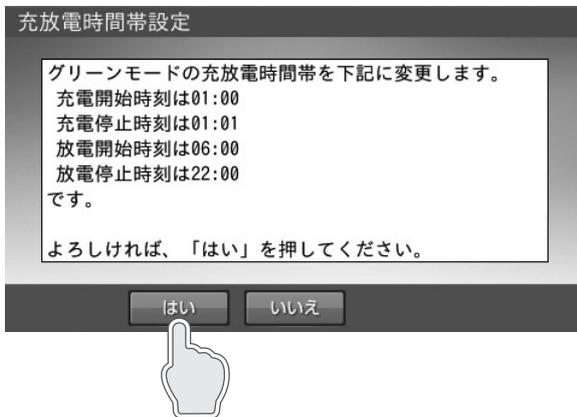
「充放電時間帯設定」画面に切り替わります。

6 「確定」をタッチする



設定を確定します。

7 「はい」をタッチする

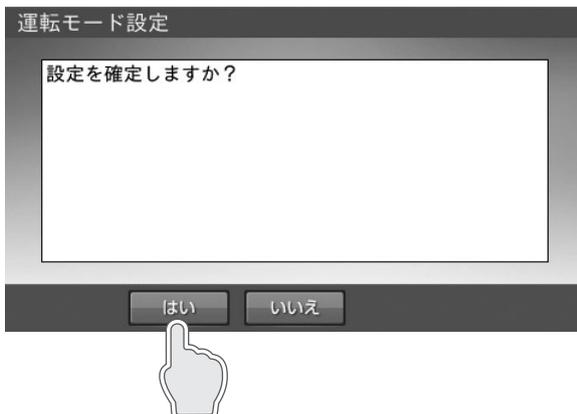


設定した時刻を確定し、「運転モード設定」画面に切り替わります。

メモ

- 充電と放電の時間帯が重複しないように設定してください。誤った設定をすると確認画面が表示されるので、「戻る」をタッチして再設定してください。
- 充電時間と放電時間の合計は、23時間50分以内に設定してください。範囲外の設定をすると確認画面が表示されるので、「戻る」をタッチして再設定してください。

9 「はい」をタッチする



「ホーム」画面に戻ります。

メモ

「いいえ」をタッチすると、前の画面に戻ります。

蓄電池ユニットの充電上限値・放電下限値を設定する

自動運転モードの充放電時間帯中に、蓄電池ユニットの残量が設定した値に到達した時点で、充電および放電を停止させることができます。

● 蓄電池充電上限値

電力会社の電力で充電する際に、指定した上限値で充電を停止する設定です。

グリーンモード利用時に太陽光発電の余剰電力をできるだけ多く充電できるように、電力会社の電力で充電する容量を少なくしたい場合などに設定してください。

なお、太陽光発電電力による余剰充電および手動運転モードの「蓄電池充電」は本設定の対象外となり、上限値を超えて充電されます。

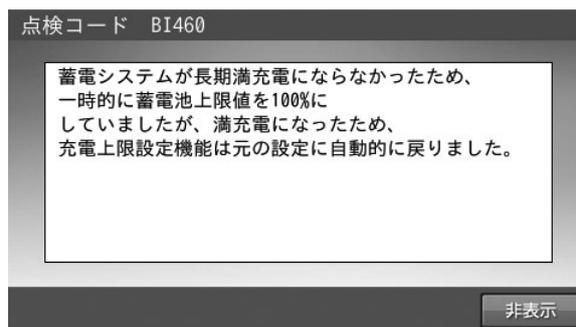
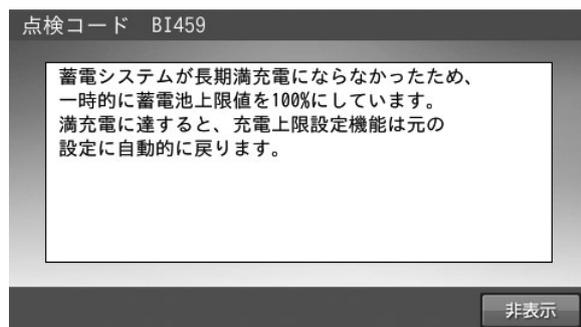
- 設定値：20%、30%、40%、50%、60%、70%、100%
- 製品出荷時の設定値は「100%」です。

※ 蓄電池ユニットが 12.0kWh (ES-T3F1) のとき

蓄電池が 10 日間満充電状態にならなかった場合は、蓄電池の性能維持のため、充電時間帯に上限設定機能を OFF にして充電を行います。上限設定機能を OFF にする際に点検コード「BI459」が表示されますが、エラー解除の操作は必要ありません。

蓄電池残量が 100% に達すると点検コード「BI460」が表示され、その後は設定されている蓄電池充電上限値で動作します。

なお、蓄電池残量が 100% に達するまで上限設定機能は OFF のままとなりますので、元の動作に戻らない場合は「100%まで充電できない場合」(44 ページ)を参照のうえ、100% まで充電できるよう各種設定を確認してください。



● 蓄電池放電下限値（非常時安心設定）

停電が発生しても、蓄電池から電気が使えるよう普段から設定した割合の充電残量を常に残しておく設定です。もしもの停電や、台風、計画停電などの停電にあらかじめ備えるときは、設定を切り替えることで、安心してお使いいただけます。

なお、設定後から蓄電池残量の制御を開始するため、必要の際は前日までに切り替えてください。

- 設定値：0%、20%、30%、40%、50%、60%、70%、100%
- 製品出荷時の設定値は「30%」です。

✎ メモ

- 通常時に蓄電池残量が設定値 +5% 未満の場合は、誤作動防止のため放電を開始しません。
- 停電中や充電時間が極端に短くなるような、充電できない状態が続く場合、あるいは蓄電池ユニットの環境温度が低い場合には、蓄電池放電下限値（非常時安心設定）の指定蓄電池残量を下回ることがあります。
- 設定値 0% により、停電時蓄電池残量がない場合は、太陽光が発電するまで停電中は電気を使用することができません。

「ご注意ください」

蓄電池放電下限値（非常時安心設定）を 0% にすると、深夜に充電した料金の安い電力をすべて使うことができますが、停電時に蓄電池残量がない場合、翌日の太陽光が発電するまで停電中は電気を使用できません。

1 「蓄電池アイコン」をタッチする



「蓄電池設定」画面に切り替わります。

メモ

蓄電池ユニットがない場合は、蓄電池アイコンは表示されませんので、本設定を行うことはできません。

2 「蓄電池充電上限値」・「蓄電池放電下限値（非常時安心設定）」を変更後、「確定」をタッチする

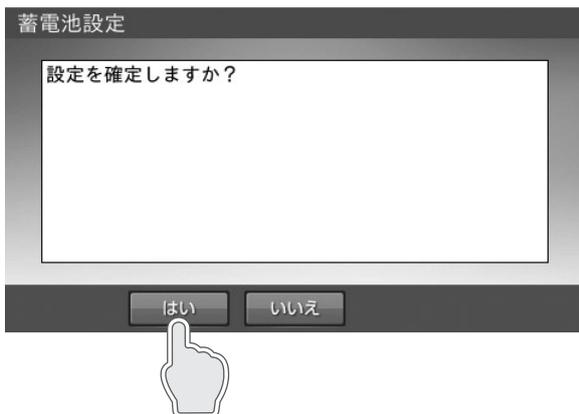


◀ / ▶をタッチして設定を変更します。

メモ

蓄電池放電下限値が蓄電池充電上限値を上まわる、もしくは同じ値となる設定にすると、蓄電池は充放電を行わなくなります。ただし、太陽光余剰電力による充電は設定値に関係なく行われます。

3 「はい」をタッチする



「ホーム」画面に戻ります。

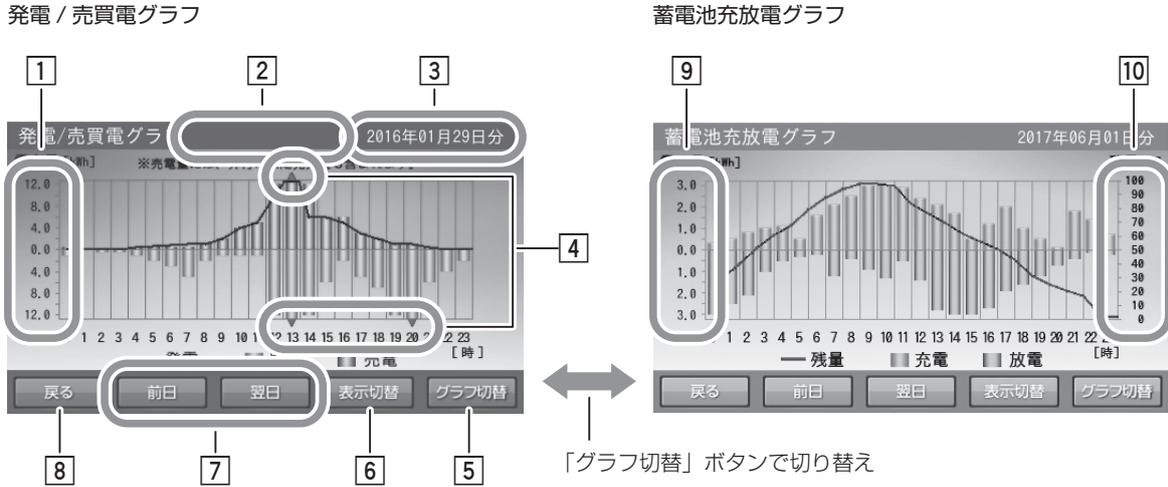
メモ

「いいえ」をタッチすると、前の画面に戻ります。

各グラフについて

「発電 / 売買電グラフ」と「蓄電池充放電グラフ」を切り替えて、表示できます。

- 発電 / 売買電グラフ：太陽光の発電電力量 (kWh) および売電・買電電力量 (kWh) を表示します。
太陽光発電パネルがない場合も表示します。
- 蓄電池充放電グラフ：蓄電池の充放電電力量 (kWh) および蓄電池残量 (%) (日別) を表示します。
蓄電池ユニットがない場合は表示しません。



1 電力量 [kWh] (発電 / 売買電グラフ)

- 発電電力量：折れ線グラフで上側に表示します。
- 売電電力量：棒グラフ (緑色) で上側に棒の長さで表示します。
- 買電電力量：棒グラフ (オレンジ色) で下側に棒の長さで表示します。

2 積算発電量 [kWh] (発電 / 売買電グラフ)

月別表示のときは「月間発電量」、年別表示のときは「総積算発電量」が、それぞれ表示されます。

3 日付表示

表示しているグラフの日付を表示します。日付を変更したい場合は、ここをタッチしてください。「日付入力画面」に切り替わります。

4 ▲▼表示 (発電 / 売買電グラフ)

表示範囲を超えた場合に表示します。

5 グラフ切替ボタン

「発電 / 売買電グラフ」と「蓄電池充放電グラフ」の表示が切り替わります。

※「車両充放電グラフ」については、V2Hシステム取扱説明書を参照してください。

6 表示切替ボタン

「日別」⇒「月別」⇒「年別」⇒「日別」の順に切り替わります。

7 前日 / 翌日ボタン

表示されているグラフの前日 / 翌日のグラフを表示します。月別表示のときは月ごと、年別表示のときは年ごとに表示が切り替わります。

8 戻るボタン

「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

9 電力量 [kWh] (蓄電池充放電グラフ)

- 充電電力量：棒グラフ (オレンジ色) で上側に棒の長さで表示します。
- 放電電力量：棒グラフ (緑色) で下側に棒の長さで表示します。

10 蓄電池残量表示 [%] (蓄電池充放電グラフ)

蓄電池残量を折れ線グラフで表示します。

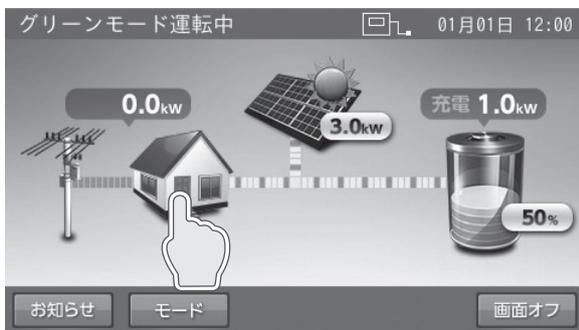
メモ

- 本システムの設置時から現在までの過去最大 10 年間相当のグラフを表示し、10 年を超えると古い日付のデータから削除されます。
- 「発電 / 売買電グラフ」において、外付け太陽光発電が「あり」の場合 (32 ページ) のみ画面上部に「売電量には、外付太陽光発電も含まれます。」と表示します。
- グラフおよび表示量は目安です。測定条件などの違いにより、他の機器 (HEMS など) と異なる場合があります。
- 室内リモコンの電源を切っている間のデータは、データが保存されないため表示できません。
- 日時設定を変更したときは、一部またはすべてのデータが削除または上書きされます。HEMS や NTP との時刻同期により日時設定が変更されたときも同様です。
- パワーコンディショナの修理・交換を行った場合、各グラフのデータがリセットされる場合があります。

グラフの表示方法

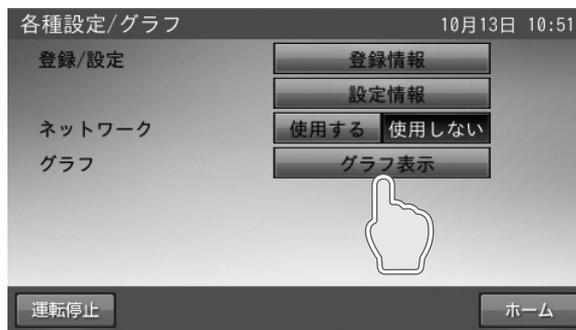
グラフを表示する

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「グラフ表示」をタッチする



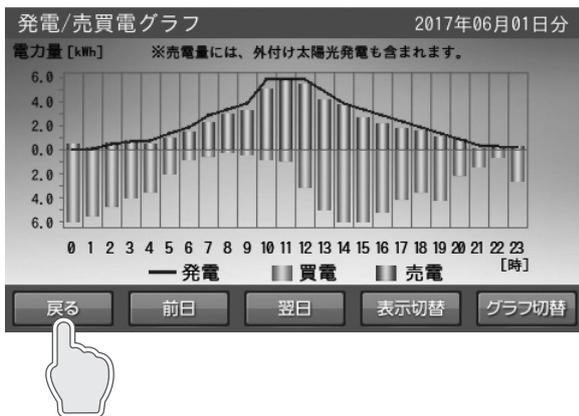
「発電 / 売買電グラフ」画面に切り替わります。

メモ

- 発電 / 売買電グラフの日別を表示します。
- 室内リモコン上の現在時刻までのデータを表示します。

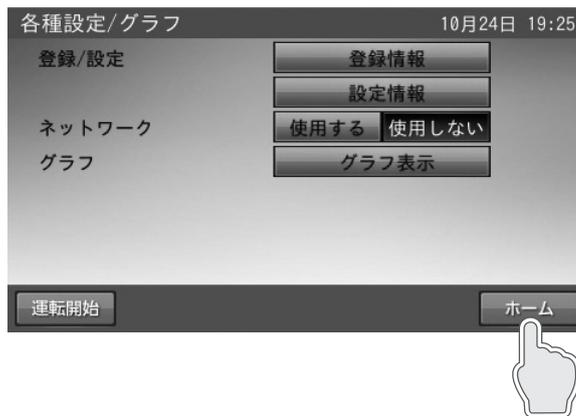
<ホーム画面に戻る場合>

3 「戻る」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

4 「ホーム」をタッチする



「ホーム」画面に戻ります。

グラフ期間を変更する

各グラフの期間を変更します。各グラフ画面の「表示切替」ボタンをタッチすると、グラフの表示期間が切り替わります。「日別」⇒「月別」⇒「年別」の順に切り替わります。

■例：発電 / 売買電グラフの場合

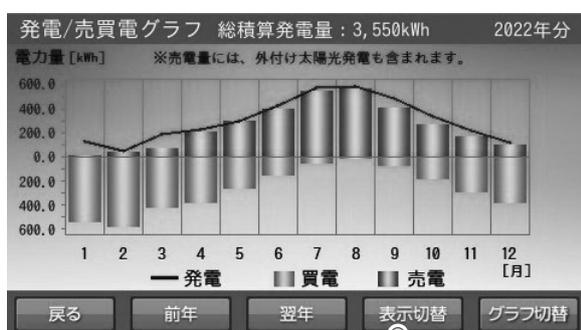
<日別>



<月別>



<年別>



メモ

- 最後のグラフまで切り替わると、最初のグラフに戻ります。
- 月別については、電力量が縦目盛りの最大値 30 kWh を超えると、60 kWh あるいは 90 kWh 目盛りの表示になります。

グラフの年、月、日を設定して変更する（日間表示の場合）

1 「日付」をタッチする



「日付選択」画面に切り替わります。

2 「日付」を入力する

表示させたいグラフの日付を設定します。

←/→をタッチすると、カーソルが移動します。

日付は、設置日から現在日の範囲で選択できます。

カーソルがある位置で「消去」をタッチすると、入力数字を消すことができます。

3 「決定」をタッチする

入力したグラフを表示します。

メモ

年別、月別グラフは、それぞれ年、月を変更してください。

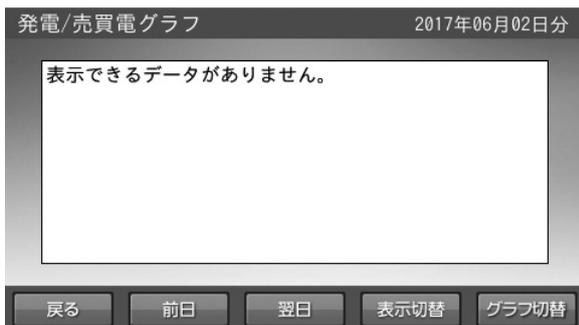
- 月別：月の変更が可能です。
- 年別：年の変更が可能です。

※ 下記の場合は、一部またはすべてのデータが削除または上書きされます。

- 日時設定を変更したとき
- 室内リモコンを修理交換したとき
- パワーコンディショナを修理交換したとき

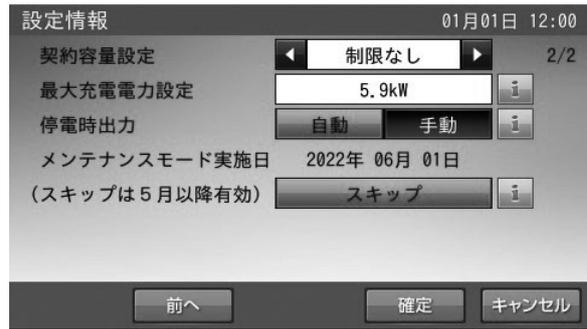
表示するデータがない場合は、下図を表示します。

■例：表示できるデータがない場合（選択した日付）



各種設定項目について

設定項目



項目	出荷時設定	内容
画面オフ時間	5分	タッチパネルを操作していない状態から、画面がオフするまでの時間（1～10分）を設定できます。 ※画面がオフした場合は、タッチパネルに触れると画面を表示します。
操作音	ON	画面操作音のON/OFFを設定できます。
画面明るさ	5	画面の明るさを10段階で設定できます。 お部屋の明るさなどの影響により、画面が見えにくい場合は変更してください。
数値表示	電力 & 残量	ホーム画面上の電力値、および蓄電池残量の表示を設定できます。 「電力 & 残量」、「電力のみ」、「残量のみ」、「非表示」の中から選択できます。 表示の違いについては次ページを参照してください。
契約容量設定	制限なし	ご家庭の契約アンペアまたは契約電力のブレーカ容量に対し、本システムの充電電力を調整するための設定です。 施工業者が設定しますので、お客様は変更しないでください。 ※電力契約の変更により、設定値を変更する場合は、お買い上げの販売会社に相談してください。
最大充電電力設定	5.9 kW	電力会社の電力で充電する際の最大充電電力を設定できます。 充電時に電力会社からの買電を抑えたい場合に変更してください。 1.0～5.9kWの範囲で0.1kW刻みで設定できますが、蓄電池ユニットへの充電時は、最大充電電力が自動的に制限されます。 詳しくは「蓄電池ユニットの充放電仕様について」（62ページ）を参照してください。
停電時出力	自動	停電時の電力供給を自動/手動設定できます。 ・「自動」：停電時、自動で電気を供給します。 ・「手動」：停電時、室内リモコンの画面上で「はい」をタッチすることで、電気を供給します。自動では電気を供給しません。安全を確認してから電気を利用したい場合に設定してください。
メンテナンスモード実施日	次回実施日	次のメンテナンスモード実施日が表示されます。メンテナンスモード実施時は通常とは異なる動作を行うため、表示されている日付で実施させたくない場合は、「スキップ」をタッチすることで実施日を変更することができます。 詳しくは「蓄電池のメンテナンスモードについて」（55ページ）を参照してください。

設定方法については、「各種設定項目を選ぶ」（29ページ）を参照してください。

メモ

「スキップ」ボタンは毎年5月以降に操作が有効になります。その年のメンテナンスモードが完了すると、翌年の5月まで操作は無効となります。

< 「数値表示」 の表示例 >

< 電力 & 残量 >



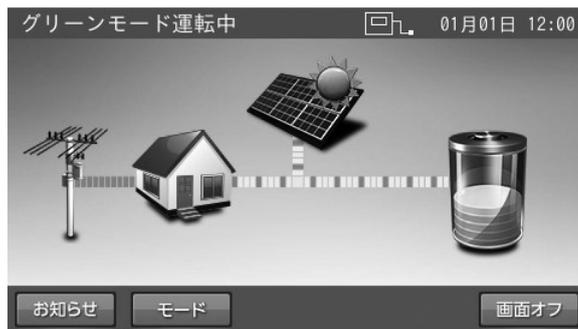
< 残量のみ >



< 電力量のみ >

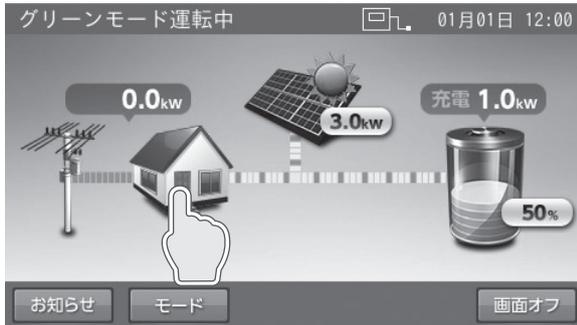


< 非表示 >



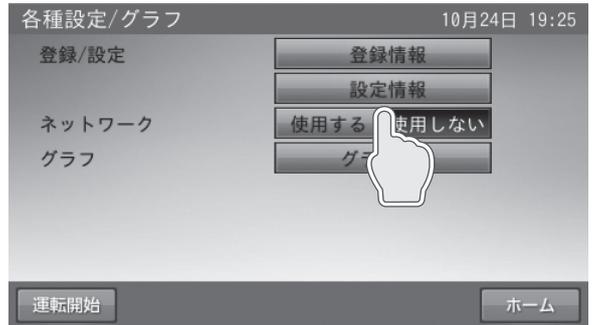
各種設定項目を選ぶ

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「設定情報」をタッチする



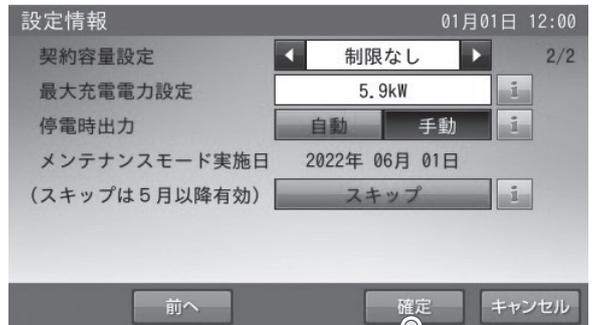
「設定情報」画面に切り替わります。

3 各設定項目を変更し、「確定」をタッチする

(1/2 ページ目)



(2/2 ページ目)



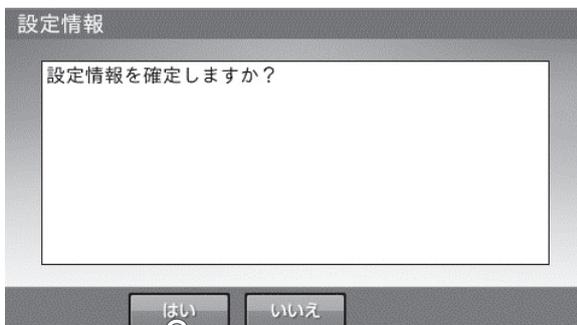
変更したい項目で◀ / ▶、「ON」または「OFF」、「自動」または「手動」をタッチして変更してください。

設定項目については、「各種設定項目について」(27 ページ)を参照してください。

メモ

- 「次へ」をタッチすると、ページを送ります。
- 「前へ」をタッチすると、前のページに戻ります。
- 各設定項目の設定を変更した状態で「キャンセル」をタッチすると、「設定が変更されています。変更を破棄して各種設定 / グラフ画面に戻りますか？」の確認画面を表示します。「はい」または「いいえ」をタッチすると、各種設定 / グラフ画面または設定情報画面に戻ります。

4 「はい」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

メモ

「いいえ」をタッチすると、変更は確定せずに「設定情報」画面に戻ります。

点検コード・発電抑制の履歴を確認する

- 点検コード履歴：点検コードの履歴を表示します。
- 抑制履歴：本システムのパワーコンディショナの太陽光発電が、以下により抑制された履歴を表示します。
(外付け太陽光発電除く)
 - 電圧上昇抑制履歴：柱上トランスの電圧が太陽光の売電等により上昇した場合の、電力会社指示による発電抑制
 - 出力制御履歴（出力制御対象時のみ）：出力制御対象邸の場合に、電力会社で定められたスケジュールによる発電抑制
 - HEMS 発電制御履歴：HEMS からの指示による発電抑制

<点検コード履歴>

1 「お知らせ」をタッチする



「お知らせリスト」画面に切り替わります。

2 「表示したい項目」をタッチする

■例：お知らせリスト画面



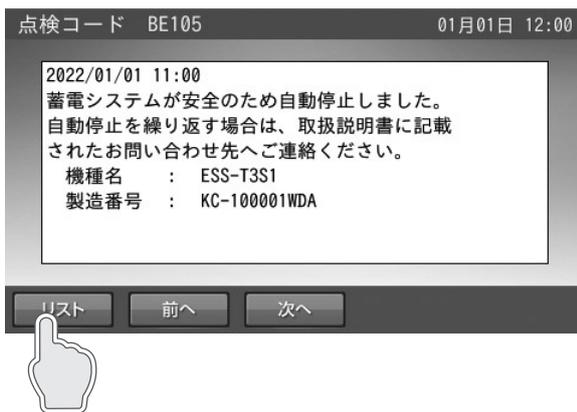
リストが 8 件以上の場合、画面右側にスクロールバーを表示します。

■をタッチしながら上下に移動させると、表示をすばやく上下に移動することができます。

▲/▼をタッチすると、リスト表示を上下に移動させることができます。

<お知らせリストに戻る場合>

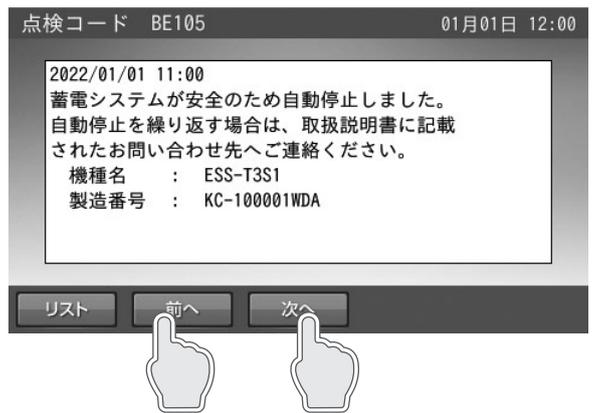
3 「リスト」をタッチする



「お知らせリスト」画面に戻ります。

<前もしくは次のお知らせを確認する場合>

4 「前へ」または「次へ」をタッチする



- 「前へ」：表示しているお知らせより古いお知らせに切り替わります。
- 「次へ」：表示しているお知らせより新しいお知らせに切り替わります。

メモ

- お知らせリスト画面の「ホーム」をタッチすると、ホーム画面に戻ります。
- リストには最大 100 件のお知らせを表示できます。
- 未読のお知らせは黒で、既読のお知らせはグレーの色で表示します。
- 室内リモコンの現在日時が未設定の場合は、「---- / -- / ---- : --」と表示します。

次ページへ続く

<太陽光発電抑制履歴>

1 「お知らせ」をタッチする



「お知らせリスト」画面に切り替わります。

2 お知らせリストの「抑制履歴」をタッチする

■例：お知らせリスト画面



通常時の使い方

3 「表示切替」をタッチする

■例：電圧上昇抑制履歴



「表示切替」をタッチするたびに、表示が切り替わります。

電圧上昇抑制履歴



出力制御履歴（出力制御対象時のみ）



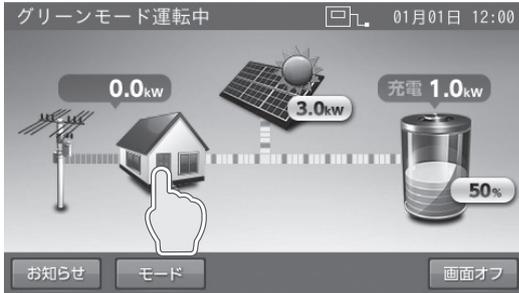
HEMS 発電制御履歴



登録情報を確認・変更する

本システムに登録されている機器情報を確認します。郵便番号のみ、お客様にて変更できます。

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

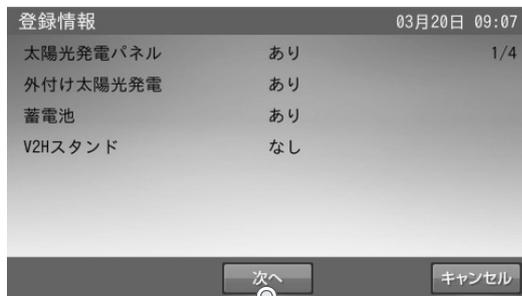
2 「登録情報」をタッチする



「登録情報」画面に切り替わります。

3 登録情報を確認し、「確定」をタッチする

< 1/4 ページ目 >



- 太陽光発電パネル：あり / なし
- 外付け太陽光発電：あり / なし
- 蓄電池：あり / なし
- V2Hスタンド：あり / なし

< 2/4 ページ目 >



- システム機種名：
- パワーコンディショナ製造番号、ソフトウェア：
- 室内リモコン機種名、製造番号、ソフトウェア：

< 3/4 ページ目 >



- 蓄電池ユニット容量：
4.9kWh/7.4kWh/9.9kWh/12.0kWh/14.9kWh / なし
- 蓄電池ユニットソフトウェア*¹：バージョン番号
- V2Hスタンド：製造番号 *³ / なし
- V2Hスタンドソフトウェア*²：バージョン番号
- 車両ID *²：
- 蓄電池設置場所：屋内 / 屋外 / なし
- V2Hスタンド設置場所：車庫 / その他 / なし

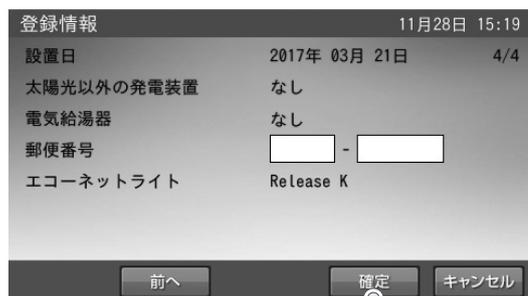
* 1：蓄電池ユニットが「なし」の場合は、表示されません。

* 2：V2Hスタンドが「なし」の場合は、表示されません。

* 3：V2Hスタンドが「あり」の場合は、V2Hスタンドの製造番号を表示します。

登録情報を確認後、「確定」をタッチして、「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

< 4/4 ページ目 >



- 設置日：設置した日を確認できます。
- 太陽光以外の発電装置：あり / なし
- 電気給湯器：あり / なし
- 郵便番号：お客様宅の郵便番号
(変更方法は次ページを参照)
- エコネットライト：バージョン番号

次ページへ続く

郵便番号の変更方法

郵便番号を入力しておく、異常が発生した際に、原因の特定につながる場合がありますので、正しく入力してください。

1 「郵便番号」をタッチする



「郵便番号」の入力画面に切り替わります。

メモ

郵便番号の入力または変更をしない場合は、「キャンセル」をタッチしてください。「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。
通常は、施工時に入力するため、操作は不要です。

2 「郵便番号」を入力する

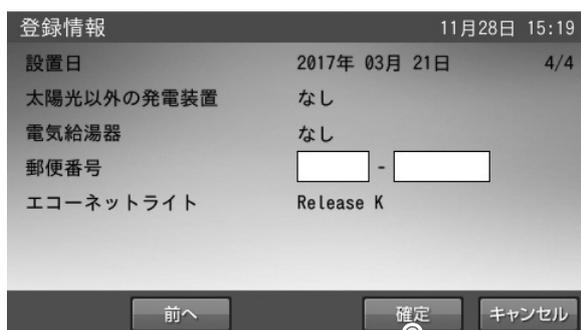


入力または変更する項目をタッチします。
数字キーをタッチして、入力します。
入力が終わったら、「決定」をタッチします。

メモ

この段階では郵便番号の変更は確定していません。

3 「確定」をタッチする

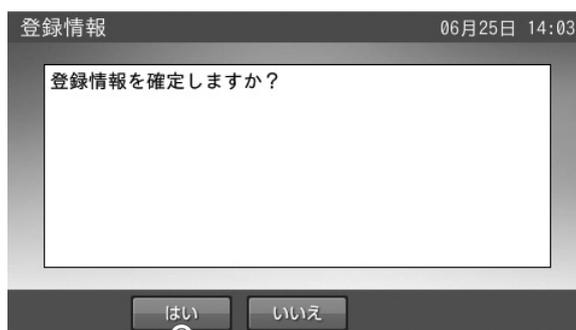


変更した郵便番号で問題なければ、「確定」をタッチします。

メモ

「キャンセル」をタッチすると、変更は確定されず「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

4 「はい」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

メモ

「いいえ」をタッチすると、変更を確定せずに「登録情報」画面に戻ります。

太陽光発電設定を確認する

太陽光発電設定の項目を確認することができます。

1 「太陽光パネルアイコン」をタッチする



「太陽光発電設定」画面に切り替わります。

2 太陽光発電設定内容を確認する



- 外付け太陽光発電の定格：
本システムと併設している外付け太陽光発電の定格電力です。
※外付け太陽光発電の定格は、外付け太陽光発電設置時のみ表示します。
- 太陽光発電電力値表示：
外付け太陽光発電の電力値を合計して表示するかを選択できます。
- 発電所 ID：
接続している発電所の ID です（電力会社からの明細に記載されています）。
※発電所 ID は出力制御対象時のみ表示します。
- 設備認定容量：
FIT 申請により、売電が認められる太陽光発電量を表示します。

3 「確定」をタッチする



確定してよいか確認メッセージが表示されますので、「はい」をタッチします。

「はい」をタッチすると「ホーム」画面に戻ります。

メモ

- 外付け太陽光発電を設置しているにも関わらず、表示しない場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
- 太陽光パネル、外付け太陽光発電が接続されていない場合は、「太陽光発電設定」に太陽光発電電力値表示の項目が表示されないため、本内容の確認はできません。
- 固定価格買い取り制度 (FIT) とは、再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で 10 年間買い取る制度です。

停電時の使い方（自立運転）

停電が発生した際は、本製品は停電時の運転に自動で切り替わり、ホーム画面上に「停電時運転中」を表示します。

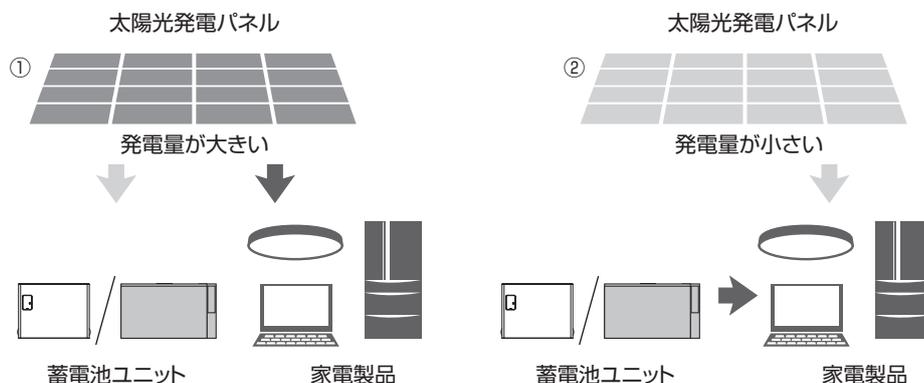


蓄電池ユニットの停電時運転モードについて

- 製品出荷時の設定および停電した際の運転モードは「自動給電切換設定」です。

自動給電切換設定

太陽光発電電力とご家庭内の家電製品の電力使用量を判断しながら、蓄電池ユニットからの放電や蓄電池ユニットへの充電の切り替えを自動で行います。通常は、こちらをご利用ください。



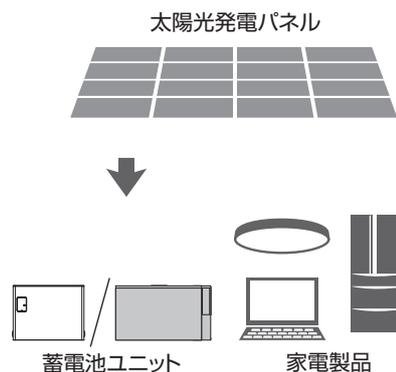
- ①太陽光発電電力を家電製品に給電し、余剰電力を蓄電池ユニットに充電します。
- ②太陽光発電電力が不足している場合や、発電していない場合は、蓄電池ユニットから家電製品に給電します。

蓄電池充電

停電時の蓄電池充電は、太陽光発電から蓄電池ユニットへの充電のみ行います。

充電動作中は家電製品への給電を一切行いません。

充電完了後は、待機状態となりますので、「自動給電切換設定」に切り替えてください。



メモ

- 停電時運転モードは、停電発生時のみ設定変更が可能です。
- 室内リモコンの電源 OFF 後、再度室内リモコンを起動した場合は、自動給電切換設定に切り替わります。

蓄電池ユニットの停電時運転モードを選ぶ（停電時）

停電発生時は、停電時運転モードをお客様のお好みに合わせて選択してください。

- 製品出荷時の設定および停電した際の運転モードは、「自動給電切換設定」です。

1 「モード」をタッチする



「停電時運転モード設定」画面に切り替わります。

メモ

蓄電池ユニットがない場合は、「モード」ボタンは表示されませんので、本設定を行うことはできません。

2 運転モードを選択し、「確定」をタッチする

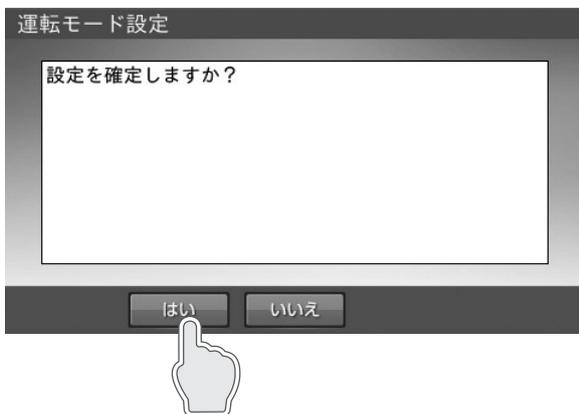


「自動給電切換設定」または「蓄電池充電」を選択してタッチします。

メモ

- 本設定は、停電発生時のみ設定変更が可能です。
- モードの選択を変更した状態で「キャンセル」をタッチすると、「設定が変更されています。変更を破棄してホーム画面に戻りますか？」の確認画面を表示します。「はい」または「いいえ」をタッチすると、ホーム画面または停電時運転モード設定画面に戻ります。

3 「はい」をタッチする



「ホーム」画面に戻ります。

メモ

「いいえ」をタッチすると、前の画面に戻ります。

停電時の家電製品の使用について

AC100V, 200V 機器合わせて、消費電力 3500W を目安に家電製品をご使用できます。

(定格出力・・・蓄電池のみのとき：片相 2.0kVA / 両相合計 4.0kVA(※)、

4.0 kW 以上太陽光発電している場合：片相 2.95kVA / 両相合計 5.9kVA)

※：蓄電システムの型番により、最大出力電力が変わります。「蓄電池ユニットの充放電仕様について」(62 ページ) 参照

- 機能分電盤または自動切替開閉器に内蔵している切替スイッチが切り替わる時、2 秒程度電気の供給が瞬断します。切替時の診断状況によっては、10 秒程度遮断することがあります。そのため、途中で電源が切れると困る家電製品や機器（医療機器等）は接続しないでください。
- センサー機能や調光機能がある照明は、ちらつく場合や、動作しない場合があります。
- 突入電流が大きい家電製品や業務用機器などは一部動作しない場合があります。
- 消費電力が大きい家電製品や業務用機器などを利用する際には、動作させる前に、他の家電製品を減らすなど、蓄電システムが供給できる電力を超えないように工夫してください。
- 蓄電システムが供給できる電力以上の家電製品が接続された場合は、室内リモコンにメッセージを表示して家電製品への給電を停止します。その場合は、接続している家電製品の数を減らしてシステムを再起動させてください。また、突入電流などの家電製品の特性により、同様の現象が発生する場合があります。
- 動作電流が大きい家電製品や業務用機器などは自立運転切り替え時に動作しなかったり、過電流保護が働いてしまう可能性があります。

家電製品をご使用の際は、下記のとおり注意してください。

生命にかかわる家電製品	接続禁止 ^{※1}	医療機器等
安全にかかわる機器	接続禁止 ^{※2}	エレベーター等
途中で電源が切れると不具合を生じる家電製品	接続禁止 ^{※1}	デスクトップ型パソコン等
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター、洗濯機、業務用機器等
消費電力（動作電流）が大きい家電製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブ、業務用機器等
保温機能がある家電製品	動作しない場合がある	炊飯器、温水洗浄便座等

※ 1：停電時に製品の使用が必要となる場合は、製品にて要求されているバックアップ電源を別途使用してください。

※ 2：安全にかかわる機器は、停電時に本製品から給電されない配線へ接続されるため、動作させることはできません。



本製品では災害による停電の場合、自動的に自立運転に切り替えて電力供給を開始するため、通電火災を引き起こすおそれがあります。そのため、電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある家電製品の扱いについては、下記の点にご注意ください。

- 連系運転時：本製品に接続したままにせず、ご使用後は本製品から外してください。
- 自立運転時：通電しても安全であることを確認した後、本製品に接続してください。

電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある家電製品一例



<停電時にご利用できる家電製品の目安>

「蓄電池放電下限値（非常時安心設定）：70%」の場合は、以下のとおりに家電製品の使用が可能です。

接続家電製品例	同時使用可能時間 (蓄電池容量 / 蓄電システム型番 / 蓄電池ユニット型番)				
	4.9kWh / ESS-T3S* / ES-T3S*	7.4kWh / ESS-T3M* / ES-T3M*	9.9kWh / ESS-T3L* / ES-T3S**+ ES-T3L*	14.9kWh / ESS-T3X* / ES-T3M**+ ES-T3X*	12.0kWh / ESS-T3F / ES-T3F1
LED照明 (10W) 冷蔵庫 (70W) テレビ (150W) ルーター・TVブースター等 (10W) 携帯電話 (2台 10W)	最大 6 時間	最大 10 時間	最大 13 時間	最大 20 時間	最大 16 時間

※ 蓄電池の劣化 (50%) を見込んでいます。

(容量保証・・・4.9kWh(ES-T3S*) / 7.4kWh(ES-T3M*) / 9.9kWh(ES-T3L*) / 14.9kWh(ES-T3X*) : 15 年、
12.0kWh(ES-T3F1) : 20 年)

※ 実際の使用環境・機器等によって、電力の使用可能時間が異なります。

※ 蓄電池ユニットがない場合は、太陽光が発電している時にのみご利用できます。

復電時の操作

- 停電後、復電した場合は、本システムに対して特別な操作はありません。
- 電力会社との協議で定められている時間内（最大 5 分）は、復電しても停電時の動作となります。復電後、電力会社との協議で定められた時間を経過すると、本システムは通常時のモードで動作します。

ネットワークの設定

ネットワークの設定をする

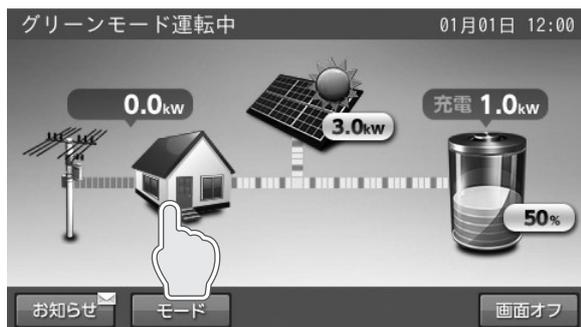
見守りサービスなどニチコンのネットワークサービスを利用する場合は、インターネットに接続するため、IP アドレスおよび DNS サーバーの設定をしてください。

ネットワークの環境がない状態でネットワークの設定を有効にした場合や、IP アドレスなど設定が間違っている場合、点検コード「BC551」を表示します。その場合は、ネットワークの設定を見直してください。

※出荷時、ネットワーク設定は、「使用しない」になっています。

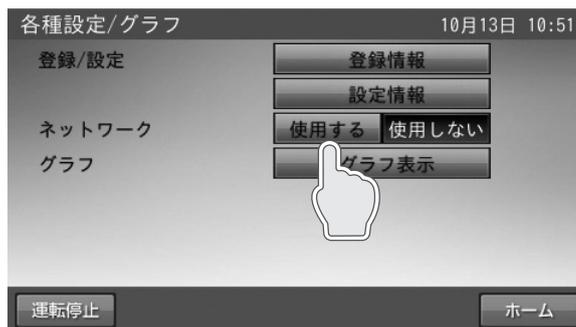
ネットワークを使用する場合（有線）

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「使用する」をタッチする



3 「有線 LAN」 → 「自動設定」または「手動設定」の順にタッチする



- 「自動設定」：手順 7 へ
- 「手動設定」：手順 4 へ



通常は自動設定です。

4 各項目を入力後「決定」をタッチする

各項目の入力箇所をタッチすると、キーボードが表示され入力できます。

■例：IP アドレス手動設定の画面



5 PROXY 設定を選択する



通常設定していただく必要はありません。

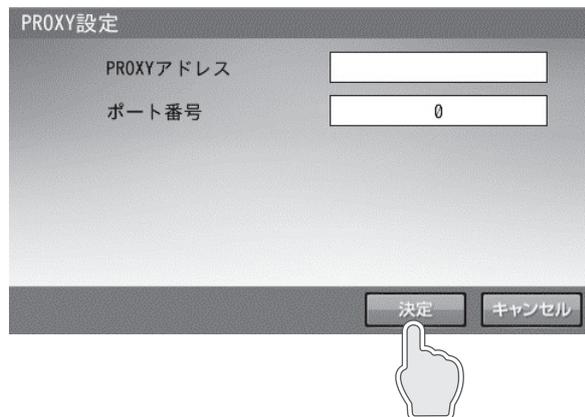


- 「ON」：手順 6 へ
- 「OFF」：手順 7 へ

次ページへ続く

6 各項目を入力後「決定」をタッチする

各項目の入力箇所をタッチすると、キーボードが表示され入力できます。



7 「確定」をタッチする



確定してよいか確認メッセージが表示されますので、「はい」をタッチします。

ネットワークを使用する場合（無線）

メモ

- 無線 LAN アダプタ（無線 LAN 子機）が室内リモコンに接続されていないと、無線 LAN は選択できません。
- 無線 LAN アダプタを室内リモコン底面にある USB ポートに接続してください。
- 本製品に対応する無線 LAN アダプタについては、ニチコンホームページをご参照のうえ、別途ご購入ください。（市場の状況によっては、入手できない可能性があります。）

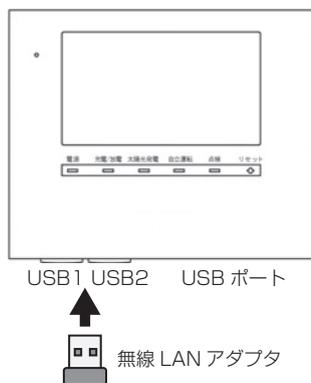
なお、本製品の室内リモコンは、ニチコンホームページ記載のメーカー型番以外の無線 LAN アダプタは認識できないためご利用にはなりません。

また、蓄電システムの製造番号により対応する無線 LAN アダプタが異なる場合がありますのでご注意ください。

https://www.nichicon.co.jp/products/ess/user_support.html#anc01

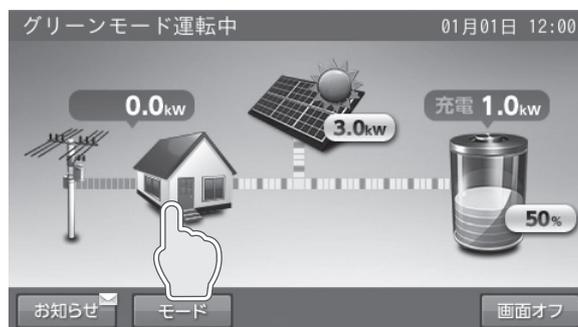
「個人のお客様」→「④その他の情報」→「●見守りサービスおよび AI 自動制御、気象警報自動制御」→「(1) 室内リモコンのネット接続用の無線 LAN アダプタ (子機) について」

1 無線 LAN アダプタを USB ポートに接続する



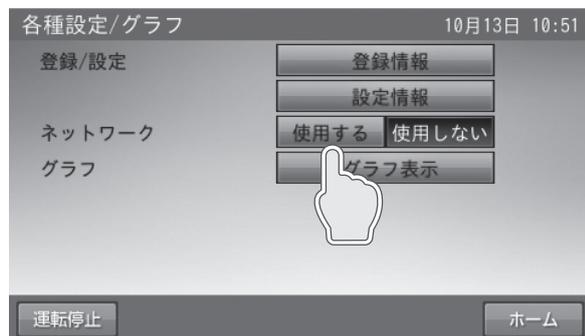
いずれかの USB ポートの蓋を外して、無線 LAN アダプタを接続してください。

2 「家アイコン」をタッチする

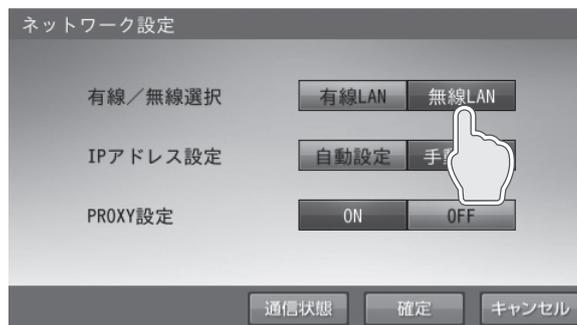


「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

3 「使用する」をタッチする



4 「無線 LAN」をタッチする



次ページへ続く

5 各項目を入力後「決定」をタッチする

各項目の入力箇所をタッチすると、キーボードが表示され入力できます。



- 「検索」:
使用する無線LANルーターのSSIDを選択し、ルーターで設定されている暗号化方式の選択、およびパスワード(セキュリティーキー)の入力を行います。
- 「手動」:
使用する無線LANルーターのSSIDを入力し、ルーターで設定されている暗号化方式の選択、およびパスワード(セキュリティーキー)の入力を行います。

ネットワークを使用しない場合

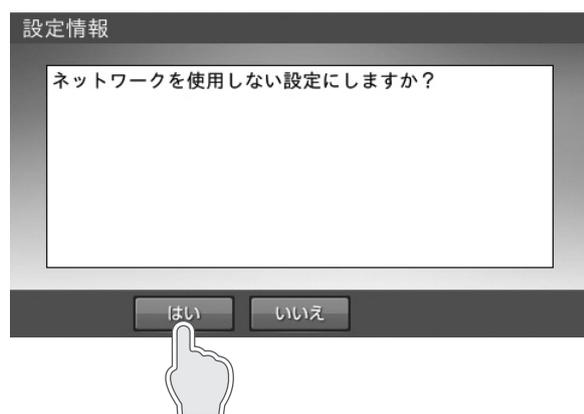
通常は必ずネットワークを使用してください。

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

3 「はい」をタッチする

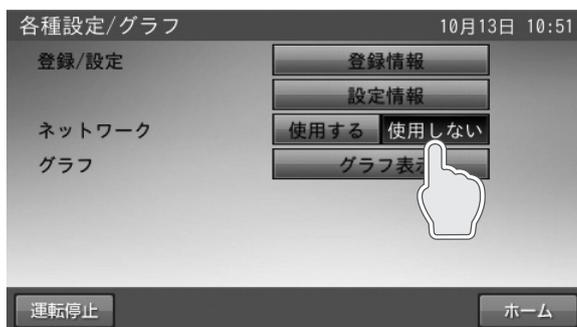


6 「確定」をタッチする



確定してよいか確認メッセージが表示されますので、「はい」をタッチします。

2 「使用しない」をタッチする



メモ

ネットワークを使用しない場合、以下の項目が利用できませんので、通常は必ずネットワークを設定してください。

- ニチコンのネットワークサービス(見守りサービスなど)
- ソフトウェアの更新
- HEMSとの通信

※出力制御対象邸の場合、スケジュール更新が有償となります。

ネットワーク接続の通信状態を確認する

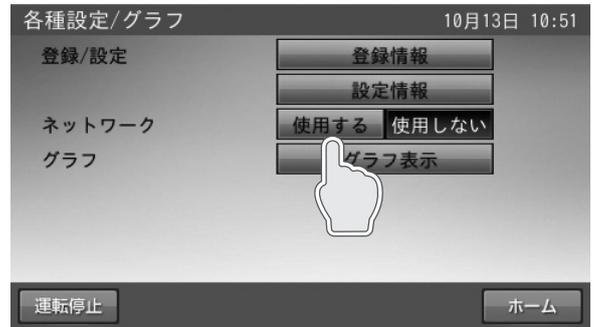
ネットワーク接続の通信状態を確認できます。

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「使用する」をタッチする



3 「通信状態」をタッチする



4 通信状態を確認する



- ルーター接続：ルーターとの接続状態
- 見守りサーバ接続：ニチコン見守りサーバとの接続状態
- 電力会社サーバ接続：電力会社サーバとの接続状態（出力制御対象時のみ表示します。）
- NTP サーバ接続：時刻情報サーバとの接続状態（出力制御対象時は表示しません。）

確認後は、「戻る」をタッチしてください。

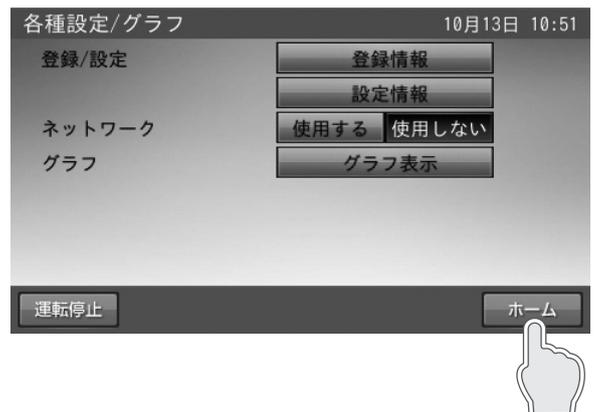
表示内容を更新する場合は、「更新」ボタンをタッチしてください。

5 「キャンセル」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

6 「ホーム」をタッチする



「ホーム」画面に戻ります。

ニチコンのネットワークサービス

ニチコンのネットワークサービスに加入されることで、より便利に蓄電システムをご活用いただけます。

詳しくはニチコンオーナーズ倶楽部をご参照ください。

ニチコンオーナーズ倶楽部：<https://owners.nichicon.co.jp>

※ 各種ネットワークサービスをご利用の際は、ニチコンオーナーズ倶楽部にリンクされている「ニチコンのネットワークサービスについて」をご確認のうえ、ニチコンオーナーズ倶楽部からお申込みください。

ニチコンのネットワークサービスについて：

https://www.nichicon.co.jp/products/ess/pdf/network_service_manual.pdf

■ニチコンオーナーズ倶楽部



日時の設定

現在日時を設定します。

1 「日時」をタッチする



「現在日時」画面に切り替わります。

2 日時を変更後「確定」をタッチする

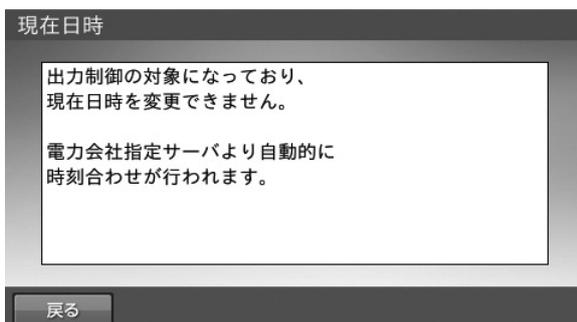


数字キーをタッチすると、新しい日時が入力されます。←/→をタッチすると、カーソルが移動します。カーソルがある位置で「消去」をタッチして入力数字を消すことができます。「キャンセル」をタッチすると、変更を確定せず、「ホーム」画面に戻ります。「確定」をタッチすると、変更を確定して「ホーム」画面に戻ります。

メモ

- 現在日時は、長年の使用により進みや遅れが生じることがあります。定期的に修正することをお勧めします。現在日時に進みや遅れが生じると、割高な電気料金で充電を行ってしまう場合があります。
- ネットワークに接続している場合は、毎日夜間に現在日時が更新されますので、設定は不要です。
- 出力制御対象の場合は、現在日時を変更できません。

■出力制御対象の場合のメッセージ



こんなときは

ブザー音や異音について

ブザー（ピピ音）が鳴ったとき

ブザー（ピピ音）が鳴ったときは、室内リモコンの画面に表示されたメッセージおよび「点検コード（BExxx、BFxxx、Blxxx）が表示されたとき」（51 ページ）の処置に従ってください。

機器から発生する音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ジージー音	
チリチリ音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チャリチャリ音	
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。（運転開始時と、停止時に発生します）
ブーン音	ファンの音です。
ガシャン音	機能分電盤の自動切替スイッチが切り替わるときに発生する音です。（停電 / 復電時に発生します）
ガチャ音	自動切替開閉器の内部スイッチが切り替わるときに発生する音です。（停電 / 復電時に発生します）

メモ

聴覚感覚が高い方にとって、運転時の高周波音は不快に感じる場合がありますが異常ではありません。

動作がおかしいと感じたとき

ブレーカが頻繁に落ちる場合

お買い上げの販売会社へご連絡ください。

契約電力を変更する場合

契約容量を変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

停電時に家電製品が使用できない場合

- ブレーカが落ちていないか確認してください。ブレーカが落ちている場合は、ブレーカを上げてください。
- 室内リモコンに点検コードが表示されている場合は、メッセージおよび「点検コード（BExxx、BFxxx、Blxxx）が表示されたとき」（51 ページ）の処置に従ってください。
- 「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」（45 ページ）を参照してください。太陽光発電がなく、蓄電池残量がゼロの場合は、本製品を利用することはできません。
- 上記要因でない場合、故障の可能性があります。お買い上げの販売会社へご連絡ください。

室内リモコンの画面が表示されない場合

停電時、太陽光発電がなく、蓄電池残量がゼロの場合は、室内リモコンの画面は表示されません。

「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」（45 ページ）の処置を行っても室内リモコンの画面が表示されない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

100%まで充電できない場合

- 充電時間帯に他の家電製品（電気温水器、床暖房など）を多く使っている場合、電力契約によっては、充電できる電力が不足し、100%まで充電できない場合があります。その場合は、電力契約の見直しなどについて、お買い上げの販売会社にご相談ください。
- 充電時間が短い場合、100%まで充電できない場合があります。「蓄電池ユニットの充放電時刻を設定する」（19 ページ）を参照してください。
- 最大充電電力設定を低く設定している場合があります。「各種設定項目について」（27 ページ）の「最大充電電力設定」を確認してください。
- 蓄電池充電上限値が設定されている場合は、設定されている値までしか充電できません。「蓄電池ユニットの充電上限値・放電下限値を設定する」（21 ページ）の「蓄電池充電上限値」を確認してください。
- 日頃グリーンモードによる太陽光発電の余剰電力充電をご利用になっている場合、天候によっては余剰電力が不足し、100%まで充電できない場合があります。

次ページへ続く

増設蓄電池ユニット (ES-T3L*/ES-T3X*) を後から増設した場合

増設蓄電池ユニットの増設直後に蓄電システムを運転開始させると、動作準備のため蓄電池ユニットの充電を直ちに開始する場合があります。動作準備が完了すると、開始前の運転モードで動作します。

動作準備開始時はお知らせリストに以下のメッセージが表示されます。

「蓄電システムの性能維持のため定期的な自動メンテナンスを実行しています。実行中は、通常とは異なる運転を行いますが、終了するまで、そのままお待ちください。終了後は、自動的に通常の運転モードに戻ります。」

なお、動作準備中は以下のとおりに蓄電システムが動作します。

- 自動運転モードの充放電時間帯 (19 ページ) や充電上限値 (21 ページ) の設定に関係なく蓄電池ユニットへ充電を行います。動作準備完了時に蓄電池残量が、設定されている充電上限値の範囲外となっている場合があります。
- 太陽光発電電力を優先的に使用して蓄電池ユニットへ充電を行います。太陽光発電の電力量によっては不足分を電力会社から買電します。
- 動作準備中に運転モードを変更した場合は、動作準備完了後に動作します。

太陽光発電電力が充電できない場合

- 雨天・曇天時は十分な発電電力が確保できず、充電ができない場合があります。
- 蓄電池残量が 100% だった場合、太陽光発電の余剰電力が発生しても充電を行わず売電します。蓄電池ユニットの充放電時間帯 (19 ページ) もしくは充電上限値 (21 ページ) の設定を確認し、余剰充電ができるよう電力会社の電力で充電する充電量を抑える設定にしてください。
- グリーンモード動作中に余剰充電制御 (16 ページ) が行われると、時間帯によっては太陽光発電の余剰電力が発生しても充電せずに売電する場合があります。
- グリーンモードもしくは売電モード動作中に充放電時間帯以外の時間帯となった場合は、太陽光発電の余剰電力が発生しても充電を行わず売電します。
- 蓄電池ユニットの充電電力の低下により、太陽光発電の余剰電力が発生しても充電できず売電される場合があります。

夏季に充放電・発電動作が停止した場合

気温の上昇や日射により、パワーコンディショナあるいは蓄電池ユニットが高温になった場合に一時的に蓄電システムを停止する場合があります。機器の温度が下がると自動で充放電・発電動作を再開します。

停電時に充放電できない場合

- 太陽光発電がない場合は、蓄電池ユニットの停電時運転モードを「蓄電池充電」に設定しても、蓄電池ユニットに充電することはできません。
- 蓄電池ユニットの停電時運転モードが「蓄電池充電」になっている場合、蓄電池ユニットから放電することはできません。「自動給電切替設定」(36 ページ) に設定してください。

停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合

夜間など太陽光発電電力がない状態で停電になり、停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合は、蓄電システムが停止します。その場合は、室内リモコンの画面をタッチしても何も表示されません。

また、太陽光発電電力が得られた場合と得られない場合とで対応が異なりますので、状況に応じて以下を参照してください。

● 太陽光発電電力が得られた場合

① 室内リモコンに点検コード「BF404」を表示する場合があります。

その場合は、「非表示」をタッチして、点検コード画面を閉じてください。太陽光発電電力による蓄電池の充電が進むと、点検コード「BF404」は自動的に解消します。

② 充電を優先する場合は、「蓄電池ユニットの停電時運転モードを選ぶ (停電時)」(36 ページ) の停電時運転モードを「蓄電池充電」に設定してください。

📌 メモ

- 「蓄電池充電」を設定することで蓄電池に早く電気を貯めることができます。ただし、蓄電池充電で動作中は家電製品へ一切給電されませんので、家電製品への給電を優先したい場合は、「自動給電切替設定」を設定してください。
- 室内リモコンにその他の点検コードが表示された場合は、「点検コード (BExxx、BFxxx、Blxxx)」が表示されたとき (51 ページ) の処置に従ってください。

● 太陽光発電電力が得られない場合

復電するまで、本製品を利用することはできません。

復電後、点検コード「BF404」が表示された場合は、お客様にて「非表示」をタッチして点検コード画面を閉じてください。その後は充電時間帯に自動で充電を行います。

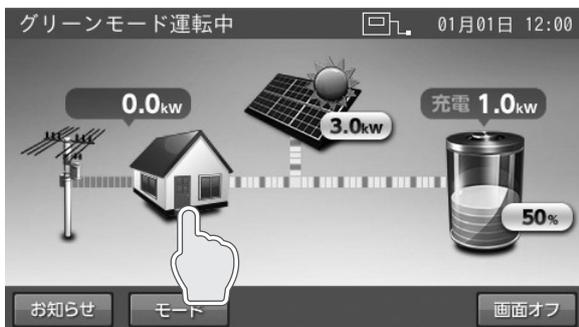
その他ご使用に関する操作方法等

停電時、安全を確認してから家電製品をご利用になりたい場合

下記に従って、操作を行ってください。

●事前設定

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「設定情報」をタッチする

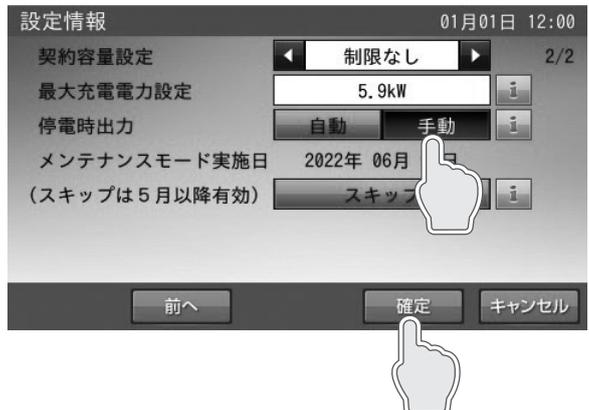


「設定情報」画面に切り替わります。

3 「次へ」をタッチする



4 「手動」を選択し、「確定」をタッチする

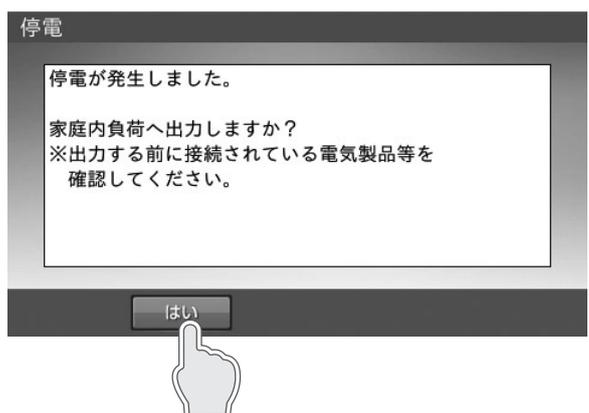


●停電発生時の操作

1 安全を確認する

停電が発生したら、配線、コンセントと接続している家電製品などが安全であることを確認します。

2 「はい」をタッチする



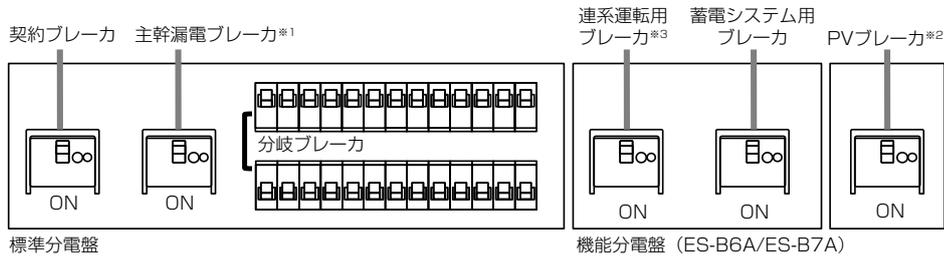
直前の画面に戻り、家電製品に電気が供給されます。

長期不在の場合

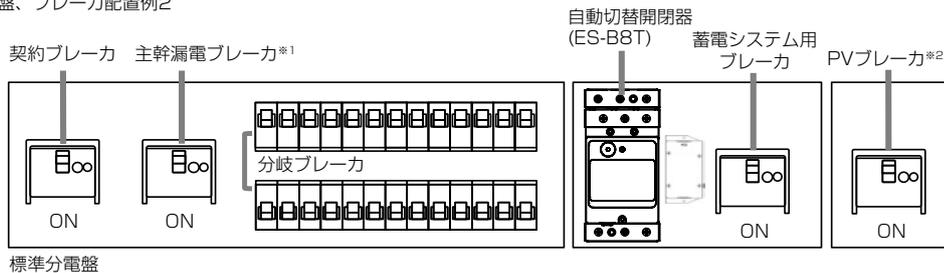
蓄電システムを起動したまま不在する場合

長期不在する場合は、室内リモコンは「ON」のまま、運転モードを「グリーンモード」もしくは「売電モード」に設定し、「契約ブレーカ」、「主幹漏電ブレーカ」、「連系運転用ブレーカ^{※3}」、「蓄電システム用ブレーカ」は「ON」の状態を維持してください。

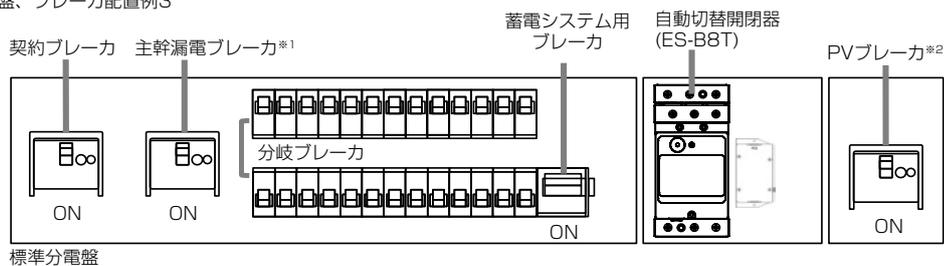
■ 分電盤、ブレーカ配置例1



■ 分電盤、ブレーカ配置例2



■ 分電盤、ブレーカ配置例3



- ※1:主幹漏電ブレーカは分岐ブレーカの隣に配置しています。
- ※2:外付けPVパワコンありの場合のみ設置されています。
- ※3:機能分電盤を設置している場合のみ操作が必要です。

メモ

- 家電製品に電気を供給したくない場合は、標準分電盤内の個々の分岐ブレーカを「OFF」に切り替えてください。
- 点検コードが出た状態で放置しないでください。過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。

蓄電システムを停止させて不在する場合

蓄電システムを長期間停止する場合は、過放電を防止するため、本製品内部の操作が必要となります。お客様は本製品内部を開けられず操作できません。お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。

「過放電にご注意ください」

本製品は、太陽光発電パネルが発電すると、蓄電システムを自動で起動する制御がはたりますが、契約ブレーカや蓄電システム用ブレーカが「OFF」の場合は、制御中に蓄電池の充電が行えず、蓄電池が過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。

過放電を防止するために、蓄電システムおよび製品内部の操作、契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、連系運転用ブレーカ^{※3}、蓄電システム用ブレーカは正しく操作する必要があります。お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。

- 契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、連系運転用ブレーカ^{※3}、蓄電システム用ブレーカを長期間「OFF」にする、あるいは蓄電システムを長期間「運転停止」する必要がある場合は、お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。
 - ① 蓄電システムを停止させる（48ページ参照）。
 - ② 本製品内部の「PV 直流開閉器 1～4」を「OFF」にする。 ※お客様は操作できません。
 - ③ 契約ブレーカ・主幹漏電ブレーカ・連系運転用ブレーカ^{※3}・蓄電システム用ブレーカを「OFF」にする。
- 上記操作後に、再度契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、連系運転用ブレーカ^{※3}、蓄電システム用ブレーカを「ON」にする、あるいは蓄電システムの起動を再開する場合は、お買い上げの販売会社に操作を依頼してください。
 - ① 契約ブレーカ・主幹漏電ブレーカ・連系運転用ブレーカ^{※3}・蓄電システム用ブレーカを「ON」にする。
 - ② 本製品内部の「PV 直流開閉器 1～4」を「ON」にする。 ※お客様は操作できません。
 - ③ 蓄電システムを起動させる（49ページ参照）。

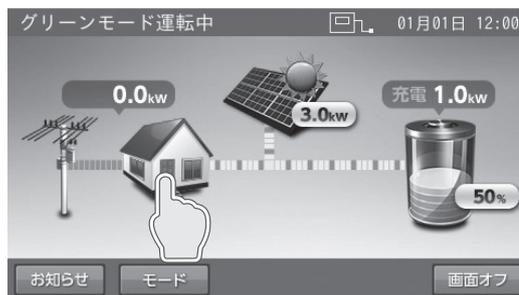
蓄電システムを停止させる場合

風水害により水没のおそれがある場合等、蓄電システムを停止させる場合は、下記手順に従って蓄電システムを停止させてください。

1 運転停止前確認

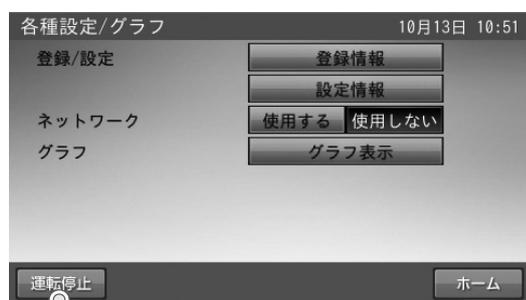
家電製品の電源を「OFF」にしてから蓄電システムを停止させてください。

2 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

3 「運転停止」をタッチする



運転を停止します。

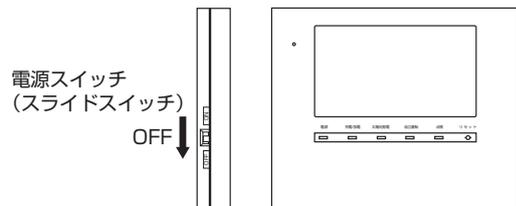
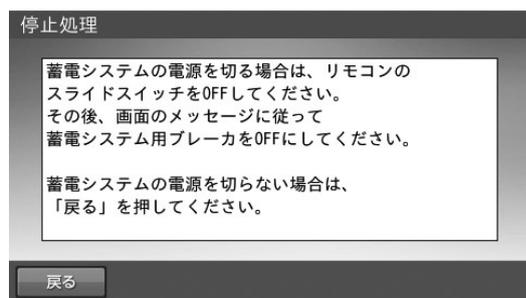
4 運転停止を確定した後「はい」をタッチする



メモ

「いいえ」をタッチすると、前の画面に戻ります。

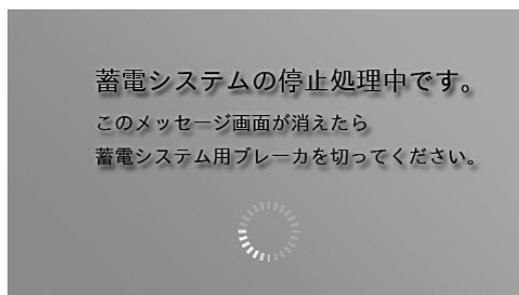
5 室内リモコンを OFF にする



メモ

蓄電システムを停止しない場合は、「戻る」をタッチしてください。「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。「運転開始」をタッチして、必ず運転状態にしてください。

6 蓄電システム用ブレーカを OFF にする



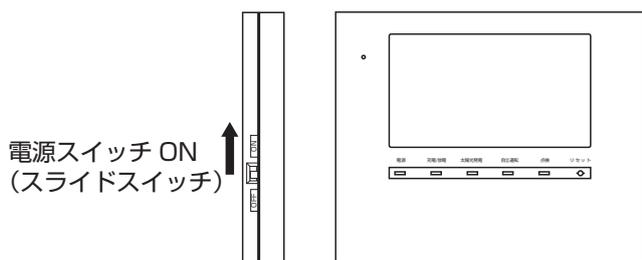
「蓄電システム用ブレーカ」を「OFF」にしてください。「蓄電システム用ブレーカ」の位置は、47ページを参照してください。

重要

蓄電システムを運転停止の状態に放置しないでください。蓄電池が過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。蓄電システムを運転停止した際は、速やかに蓄電システムを起動させ、運転状態にしてください。（49ページ）

蓄電システムを起動させる場合

1 蓄電システム用ブレーカ・室内リモコンを ON にする



「蓄電システム用ブレーカ」および「室内リモコン」を「ON」にしてください。

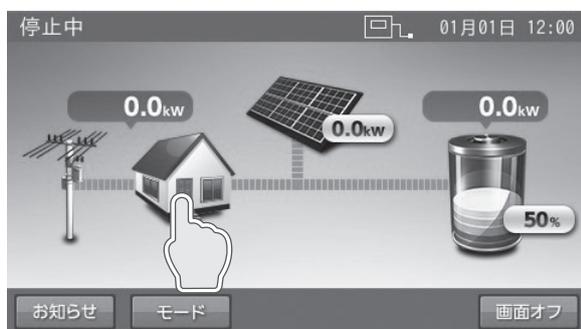
「蓄電システム用ブレーカ」の位置は 47 ページ参照。

蓄電リモコン起動中です。
しばらくお待ちください。
(この画面中は電源を切らないでください)

メモ

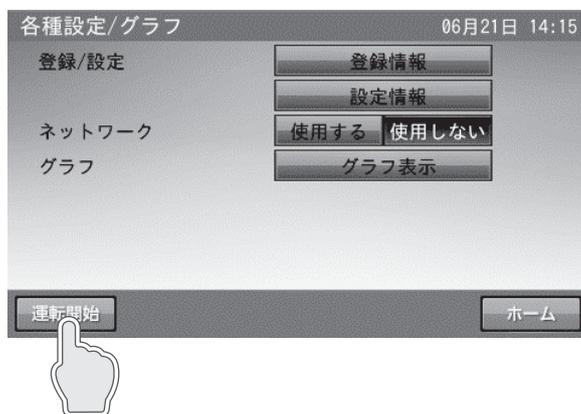
- 上記の画面表示中は、室内リモコンの電源を「OFF」にしないでください。
- 日時設定の数字キーが表示されたときは、「日時の設定」(43 ページ)に従い、現在日時を設定してください。

2 「家アイコン」をタッチする



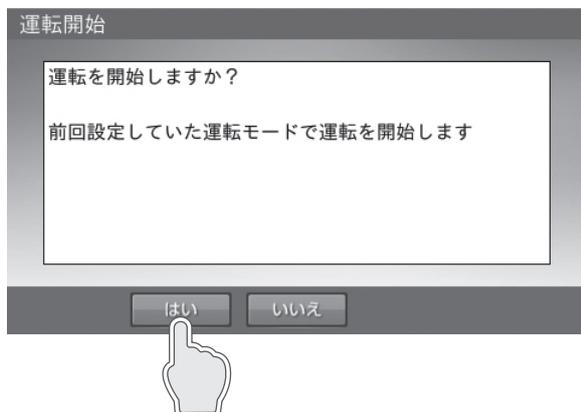
「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

3 「運転開始」をタッチする



こんなときは

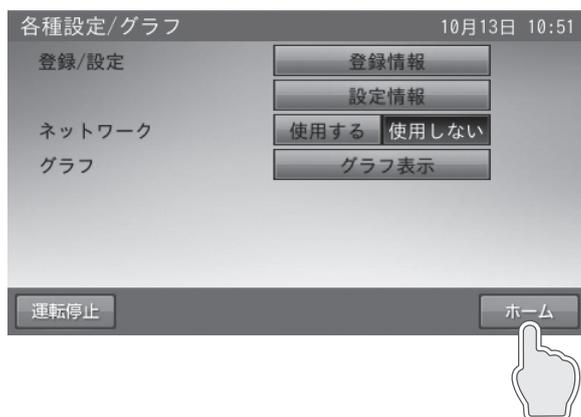
4 運転開始を確定した後「はい」をタッチする



メモ

- 「いいえ」をタッチすると、前の画面に戻ります。
- 蓄電システムを起動した後は、直前に設定していた自動運転モードに切り替わります。

5 「ホーム」をタッチする



「ホーム」画面に戻ります。

蓄電システムを廃棄する場合

使用后、すみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。
廃棄費用はお客様負担となります。

風水害または地震などの対応

- 風水害により水没のおそれがあるときは、あらかじめ本システムの運転を停止させて、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしてください。(48 ページ)
- 水没した場合は、本システムを停止させた状態で、お買い上げの販売会社までご連絡ください。
- 地震により点検コードを発報している等の異常が発生した場合は、お買い上げの販売会社までご連絡ください。

低温時の動作について

本製品の蓄電池ユニットはリチウムイオン電池を使用しています。そのため、低温時(蓄電池ユニットの周囲温度が約 10℃以下)の特性変化により下記のような現象が起こる場合がありますが、故障ではありません。

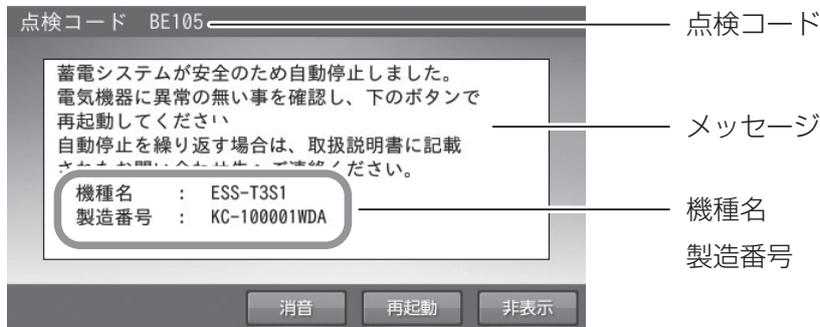
- 同じ蓄電池残量(例えば 100%)でも、温かい時期に比べて、使用できる電力量が少なくなります。
- 蓄電池ユニットの充電電力量が上限に達すると、リモコン画面の蓄電池残量表示が大きく変わります。
(例: 80% で充電上限に到達 → 100% に表示が変わる)
- 満充電状態(100% 表示)から蓄電池ユニットの放電を開始した際に、リモコン画面の蓄電池残量表示が大きく変わります。
(例: 100% から放電開始 → 放電開始直後、80% に表示が変わる)

点検コード (BExxx、BFxxx、BIxxx) が表示されたとき

蓄電システムが何らかの原因で一時的に停止したとき、または停止中の状態のときに、点検コード「BExxx」、「BFxxx」、「BIxxx」(xxxには3桁の数字が入ります)が表示されます。

点検コードが表示されたときは、下表に従って処置してください。お買い上げの販売会社または弊社専用ダイヤルにご連絡いただく際は、画面に表示される機種名、製造番号、点検コードを合わせてご連絡ください。

■例：点検コードの画面



- [消音] をタッチすると、ブザー音が止まります。
- [再起動] をタッチすると、蓄電システムを再起動します。
- [非表示] をタッチすると、30秒間点検コードを非表示にします。

重要

点検コードが表示された状態で放置しないでください。蓄電池が過放電の状態となり、電池交換(有償)となることがあります。

点検コードのメッセージと処置

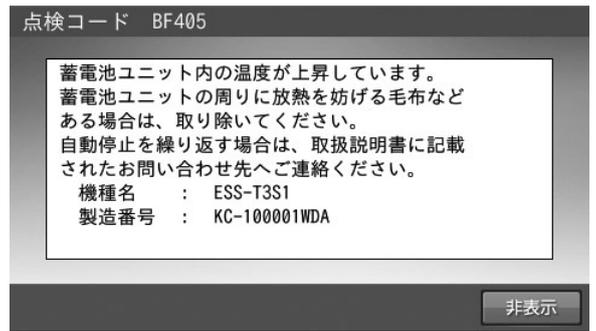
点検コード	メッセージ	処置
充放電時刻重複	充放電時刻が重複または開始時刻と停止時刻が重複しているため設定できません。	時間帯の重複がないように再設定してください。(19ページ)
BExxx [*]	蓄電システムが安全のため自動停止しました。電気機器に異常の無い事を確認し、下のボタンで再起動してください。自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。 [*]
BE201 BE202 BE203	自立出力電力オーバー 接続機器の消費電力が出力をオーバーしたため、給電を停止しました。ご家庭の家電品の電源をいくつか切って、下のボタンで再起動してください。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。	停電時に本製品からの給電で電力が賅えきれなくなると表示されます。掃除機、電子レンジ、ドライヤー、ヒーター等、消費電力の大きい機器のご使用はお控えください。
BFxxx	蓄電システムが自動停止しました。安全確認後、自動的に復帰します。自動停止を繰り返す場合は取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BF517	日時設定をお願いします。停電のため日時の設定がクリアされました。非表示を押してメッセージを閉じ、日時の再設定を行ってください。	メッセージに従い、日時設定を行ってください。(43ページ)
BI459	蓄電システムが長期満充電にならなかったため、一時的に蓄電池上限値を100%にしています。満充電に達すると、充電上限設定機能は元の設定に自動的に戻ります。	満充電されないときは、満充電できるように各種設定を確認してください。(44ページ)
BI460	蓄電システムが長期満充電にならなかったため、一時的に蓄電池上限値を100%にしていたが、満充電になったため、充電上限設定機能は元の設定に自動的に戻りました。	非表示を押してメッセージを閉じ、そのままご利用ください。

^{*} : BE303 もしくは BE304 が表示され、かつ自動切替開閉器を設置している場合の処置は、自動切替開閉器の復帰ボタンを1回短押しし、自動切替開閉器の状態表示LEDが緑点灯または赤点灯した後、室内リモコンの再起動ボタンをタッチしてください。自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

点検コード「BF405」について

蓄電池ユニット内の温度センサが指定温度範囲(*)を検知すると、点検コード「BF405」を表示しますが、指定の温度条件外(*)になると自動的に復帰するため、エラー解除の操作は必要ありません。

蓄電池ユニットの周りに放熱を妨げる毛布などが覆いかぶさっていないか確認してください。



※：指定温度範囲は以下のとおりです。

温度範囲		温度検知時の動作
4.9kWh(ES-T3S*) / 7.4kWh(ES-T3M*) / 9.9kWh(ES-T3L*) / 14.9kWh(ES-T3X*)	12.0kWh (ES-T3F1)	
-10℃ 以下 もしくは 55℃ 以上	-10℃ 以下 もしくは 58℃ 以上	「BF405」発報
-4℃ ~ 49℃	-8℃ ~ 56℃	「BF405」解除

点検コード「BF404」について

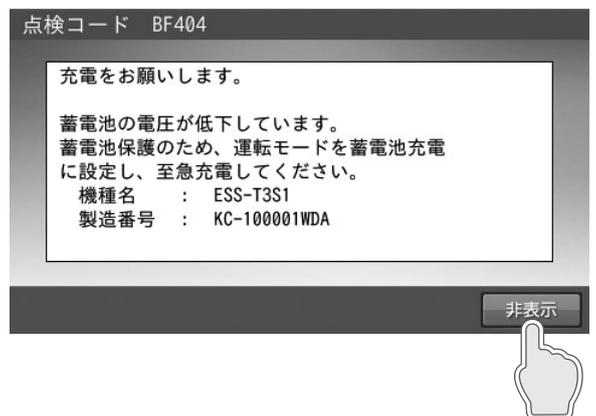
点検コード「BF404」は、蓄電池残量が0%よりさらに低下した場合にお知らせします。

通常時に発報した場合

点検コードが発報されると自動運転モードの動作時間帯に関係なく、点検コードが解除されるまで蓄電池ユニットの充電を行います。

停電後の復電時に発報した場合

「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」(45ページ)に従ってください。



点検コード「BF306」について

点検コード「BF306」は、自動切替開閉器の温度が動作範囲を超えている場合にお知らせします。

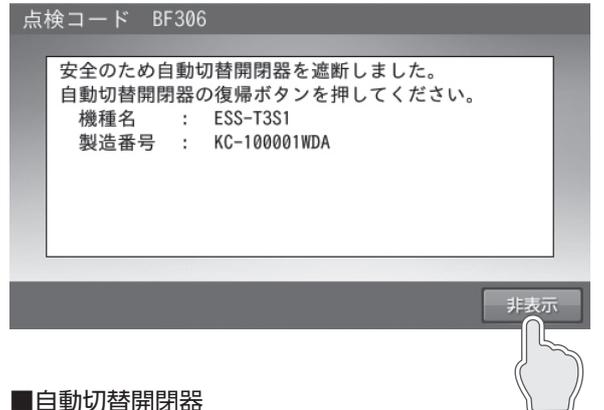
温度が動作範囲に戻ると、自動的に復帰します。

10分程度経過しても自動復帰しない場合は、自動切替開閉器の「復帰ボタン」を1回短押し*1してください。

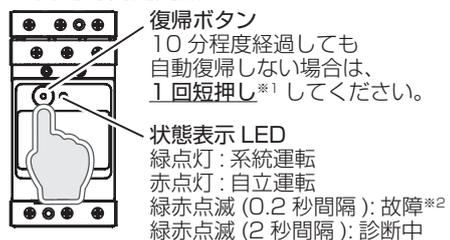
※ 1: 復帰ボタンは5秒以上長押ししないでください。

※ 2: 点検コード発報中は自動切替開閉器の状態表示LEDが緑赤点滅(0.2秒間隔)します。

■室内リモコン



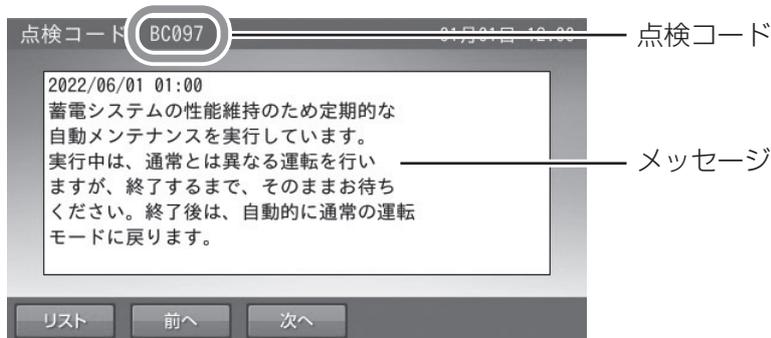
■自動切替開閉器



点検コード (BCxxx) が表示されたとき

お客様に対し蓄電システムの動作や障害に関するお知らせが発生したとき、点検コード「BCxxx」（xxx には 3 桁の数字が入ります）が表示され、お知らせリストに記録されます。

■例：お知らせの画面



メモ

お知らせの内容の文字数が多い場合は、画面右側にスクロールバーを表示します。
 ■をタッチしながら上下に移動させると、表示をすばやく上下に移動することができます。
 ▲ / ▼をタッチすると、リスト表示を上下に移動させることができます。
 お知らせ以外でも画面右側に▼ / ▲と■が表示された場合は、同じ操作方法になります。

お知らせメッセージと内容

点検コード	メッセージ	内容
BC096	運転停止中 運転が停止されました。	蓄電システムが停止となった場合に記録されます。
BC097	蓄電システムの性能維持のため定期的な自動メンテナンスを実行しています。 実行中は、通常とは異なる運転を行いますが、終了するまで、そのままお待ちください。 終了後は、自動的に通常の運転モードに戻ります。	各種メンテナンス実施時に記録されます。完了するまでそのままお待ちください。 メンテナンスモードについては 55 ページを参照してください。
BC417	蓄電システムの点検が必要です。 取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へお早めにご連絡ください。	蓄電池の充電可能容量が 50% を下まわった場合に記録されます。 そのままご利用可能ですが、保証書記載内容を満たしている場合は、無償交換を行います。お買い上げの販売会社にご連絡ください。
BC551 BC562	ネットワークとの通信が途切れました。 ルーターの再起動等をお試しいただくとともに、インターネット接続が可能な状態か確認してください。	ネットワーク通信に障害がある場合に記録されます。 ネットワーク配線、ルータ設定、室内リモコンのネットワーク設定を確認してください。
BC094 BC457 BC554	蓄電システムのファームウェアの更新を行いました。	蓄電システムのソフトウェアが更新された場合に記録されます。そのままご利用ください。
BC556	リモコンをシャットダウンしました。	室内リモコンの電源スイッチを「OFF」に設定した場合に記録されます。
BE000	(メッセージはありません)	お知らせが必要な状態から、お知らせの必要が無い状態に移行した場合に記録されます。メッセージ表示はありません。
BC565	電力会社サーバ通信に障害が発生しております。 ネットワーク配線、ルータ設定等をご確認ください。 この点検メッセージが表示された場合は取扱説明書をご確認ください。	電力会社サーバ通信に障害がある場合に記録されます。ネットワーク配線、ルータ設定、室内リモコンのネットワーク設定を確認してください。

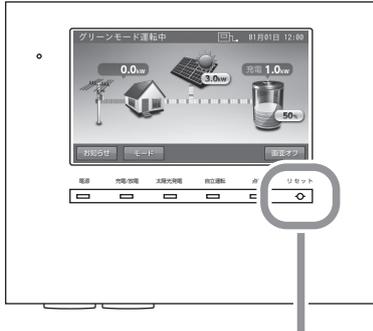
室内リモコンが動かなくなった時

室内リモコンのマイコンをリセットすることができます。
室内リモコンが動かなくなったときにのみ、以下の手順に従ってください。

1 電源スイッチを OFF にする

メモ

- 数秒で室内リモコンが OFF 状態になった場合は、「リセット」ボタンを押す必要はありません。
- 電源が OFF にならなかった場合は、電源スイッチを OFF にしたままの状態ですぐペン先などで「リセット」ボタンを押してください。



ペン先などで「リセット」ボタンを押す

2 リセット後、電源スイッチを ON にする

メモ

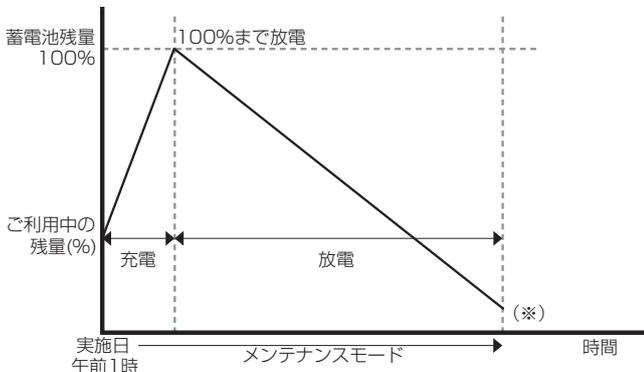
- 電源スイッチが OFF のとき、蓄電システムは運転を停止します。
- 室内リモコンの電源スイッチが「ON」の状態ですぐ「リセット」ボタンを押しても、室内リモコンのリセットは行いません。

蓄電池のメンテナンスモードについて

メンテナンスモードとは、蓄電池を自動的に点検するモードです。

自動運転モードの充電時間帯（19 ページ）の設定に関係なく、メンテナンスモード実施日の午前 1 時から開始します。メンテナンスモード動作は充電上限値・放電下限値（21 ページ）の設定に関係なく、最初に蓄電池残量 100% まで充電を行い、その後蓄電池の放電を行います（*）。放電後、メンテナンスモードは完了し、メンテナンスモード開始前の運転モードに戻ります。

■メンテナンスモード動作時イメージ



メモ

- 蓄電池性能維持のため、メンテナンスモード実施中は、手動運転モードにしないでください。
- メンテナンスモード実施中も普段と同じように、家電製品をお使いいただけます。
- メンテナンスモード実施中は、放電下限値の設定に関わらず、指定の蓄電池残量（*）まで放電を行います。メンテナンスモード実施中に停電が発生した場合はメンテナンスモードを中断するため、蓄電池残量が設定した下限値を下回っている可能性があります。停電中に蓄電池残量がゼロになると、太陽光発電電力が得られない場合、本製品を利用することはできません。
- メンテナンスモード完了直後は指定の蓄電池残量（*）となっています。蓄電池ユニットへ直ちに充電したい場合は、運転モードを「蓄電池充電」に設定することで蓄電池ユニットに早く電気を貯めることができます。

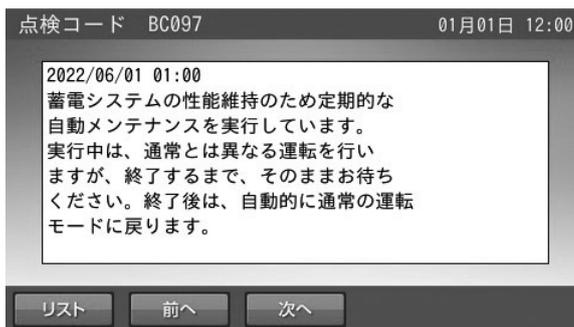
*：蓄電池ユニットの型番により放電終了残量が変わります。
・ES-T3S* / ES-T3M* / ES-T3L* / ES-T3X*：9% まで放電
・ES-T3F1：0% まで放電

蓄電システムの性能維持のために、年 1 回（6 月）自動でメンテナンスモードを実施します。メンテナンスモード実施時に「お知らせ」をタッチすると、室内リモコンに内容が表示されます。

■例：メンテナンスモード運転中のホーム画面



■例：お知らせの画面



メンテナンスモード実施日について

- メンテナンスモードは「6月 1 日～ 10 日」の期間の内、パワーコンディショナ製造番号の数字部分下 1 桁目の数字と同じ日付にて実行されます。パワーコンディショナの製造番号については、「登録情報を確認・変更する」（32 ページ）を参照してください。

（例）

- ・KC-112487WDA（パワーコンディショナ製造番号）の場合 ⇒ 6月 7 日に実行
- ・KC-113000WDA（パワーコンディショナ製造番号）の場合 ⇒ 6月 10 日に実行

- メンテナンスモードが何らかの要因によって中止された場合は、当初の実施日の 10 日後に再設定されます。なお、スキップ操作によって再設定した場合は、実施日の 10 日後に再設定されますが、再設定後の日付を迎えるまで続けてスキップさせることができません。スキップ操作については、「各種設定項目について」（27 ページ）を参照してください。
- スキップ操作は年間で最大 4 回まで可能です。ただし、スキップ操作を行う時期によって、スキップ操作の回数上限が変わります。
- 6 月中に実施予定だったメンテナンスモードが全て中止された場合は、同年の 9 月中で再設定されます。

メンテナンスモード停止条件

以下の条件となった場合、メンテナンスモードは停止します。

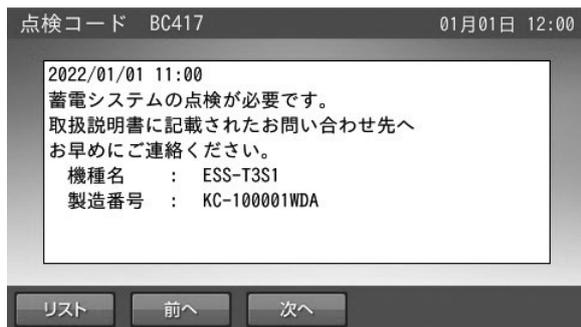
- 蓄電システムの運転モードを「手動運転モード」に変更した場合
- 点検コードが発報した場合（BExxx または BFxxx）
- 停電が発生した場合
- 蓄電池温度が指定温度条件を満たした場合
55℃以上または 10℃未満

メモ

メンテナンスモードが連続して停止されると、正常に動作しなくなる場合があります。

<蓄電池容量低下メッセージ：蓄電池容量が 50 % を下回ったことをお知らせします>

保証期間中に、「お知らせ」をタッチして、点検コード「BC417」が表示された場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。



メモ

- メンテナンスモード完了のためには、家庭内で最低 100W 以上の電力消費が必要です。
- ご家庭の消費電力が少ない場合は、メンテナンスモードが終了するまで数日かかることがあります。

ソフトウェアの更新

ソフトウェアの更新方法

ソフトウェアの更新が必要な場合は、ソフトウェア更新画面を表示します。画面の指示に従って操作し、必ず更新してください。

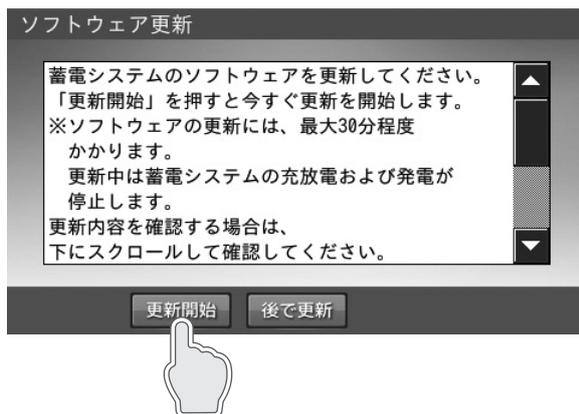
※本機能は本製品をインターネットに接続している場合のみ有効です。

※本製品をインターネットに接続していないお客様が、新機能追加等でソフトウェアの更新が必要な場合は、有償での訪問対応作業が必要となります。

メモ

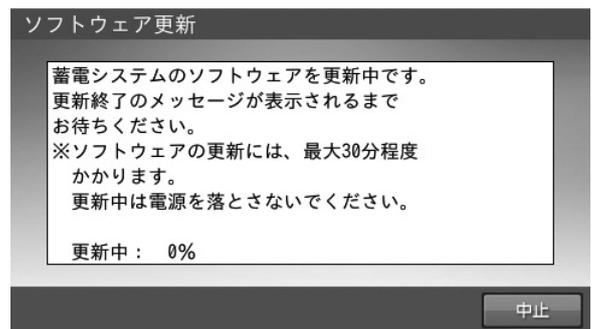
更新中は、本システムの充放電および太陽光発電を停止します。
更新には、数分から最大 1 時間程度かかる場合があります。

1 「更新開始」をタッチする



※更新内容によっては、本画面を表示せず自動的に更新が始まる場合があります。

2 更新中の画面が表示される

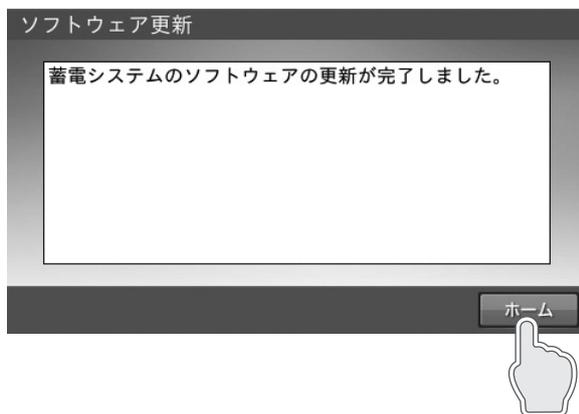


そのままお待ちください。

メモ

- 更新作業終了後、自動的に室内リモコンが再起動します。
- 再起動しても、運転モードや充放電開始時刻などの設定項目は再起動前の状態を維持しますので、再設定の必要はありません。

3 「ホーム」をタッチする

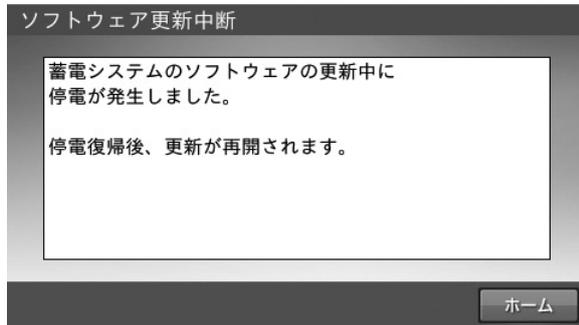


「ホーム」画面に戻ります。

※更新内容によっては、本画面を表示しない場合があります。

更新中に停電した場合

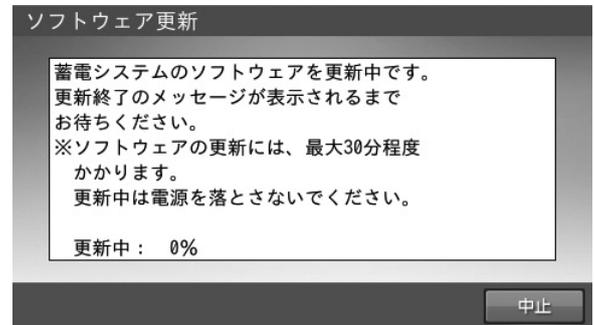
1 ソフトウェア更新中断画面が表示される



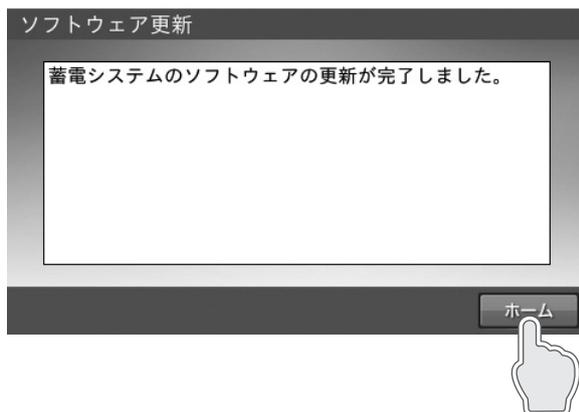
メモ

ソフトウェア更新は蓄電システム用と、室内リモコン用があります。室内リモコン更新の場合は、更新中に停電してもソフトウェア更新中断画面は表示されません。

2 停電復電後、しばらくしてソフトウェア更新画面が表示され自動的に更新作業を再開する



3 「ホーム」をタッチする



「ホーム」画面に戻ります。

保証とアフターサービス

保証について

保証については、保証書の内容をよくお読みください。

弊社または販売会社からお渡ししますので、必ず販売会社名、引渡日等の記入をお確かめになり大切に保管してください。

注：上記の記載がない場合には無効となることがあります。

アフターサービスについて

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。また、機器や設置した建物の所有者の変更による機器の取り扱いについては、事前に販売会社にお問い合わせください。

販売元専用ダイヤルがご利用いただけない場合は、下記のニチコンサービスセンターまたはお客様窓口にご連絡ください。

修理を依頼される時

修理を依頼される場合は、次のことをご知らせください。

- お買い上げ時期
- 装置の型番と製造番号（装置側面の定格ラベルに表示）
- 故障の状況（点検コード、故障発生時の時間と天候など）

補修用性能部品の最低保有期間 / 修理対応期間

- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 装置の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後、保証書記載の保証期間相当年数となります。
- 修理対応期間は、保証期間と同一期間とさせていただきますが、保証期間を過ぎていても修理可能な製品については、有料にて修理いたします。

移設などで機器を一時保管される場合は屋内（湿気の少ないところ）に保管してください

お客様ご自身では移設を行わないでください。

故障した場合の連絡先	ニチコン株式会社サービスセンター 電話 : 03-5212-9211 ファックス : 03-5211-2153 平日 : 9時～20時 土・日・祝日・休業日 : 9時～18時
製品の使用方法などに関するお問い合わせ先	ニチコン株式会社お客様窓口 電話 : 0120-215-086 メール : info-ess@nichicon.com 平日 : 9時～17時 土・日・祝日・休業日は除く

保証とアフターサービス
補助金に関するご注意

補助金に関するご注意

購入時に補助金の申請をする場合

補助金の支給を受けるには、各機器の製造番号が記載された「システム保証書」と「出荷証明書」が必要です。機器の設置後、下記のニチコンオーナーズ倶楽部にユーザー登録したうえで、サイトから書類の申請を行ってください。申請後、弊社から指定場所へ郵送いたします。

<https://owners.nichicon.co.jp>

また、補助金の支給を受けて本製品を購入した場合は、設置時から一定期間本製品を適正にご使用していただく必要があります。設置時から期間内に修理が必要になった場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

遠隔出力制御ルールに関するご注意

本製品は、2015年1月22日公布の再生可能エネルギー特別措置法施行規制の一部を改正する省令と関連告示に対応する機器です

再生可能エネルギーを最大限導入するために、電力会社の求めがあった場合は、遠隔出力制御を行う機器の設置が義務づけられました。

省令改正に関して詳しくは、経済産業省のホームページをご参照ください。(https://www.meti.go.jp/)

なお、遠隔出力制御は地域により対応が異なります。また、遠隔出力制御は電力会社の要請により実施されますので、詳しくは、各電力会社にお問い合わせください。

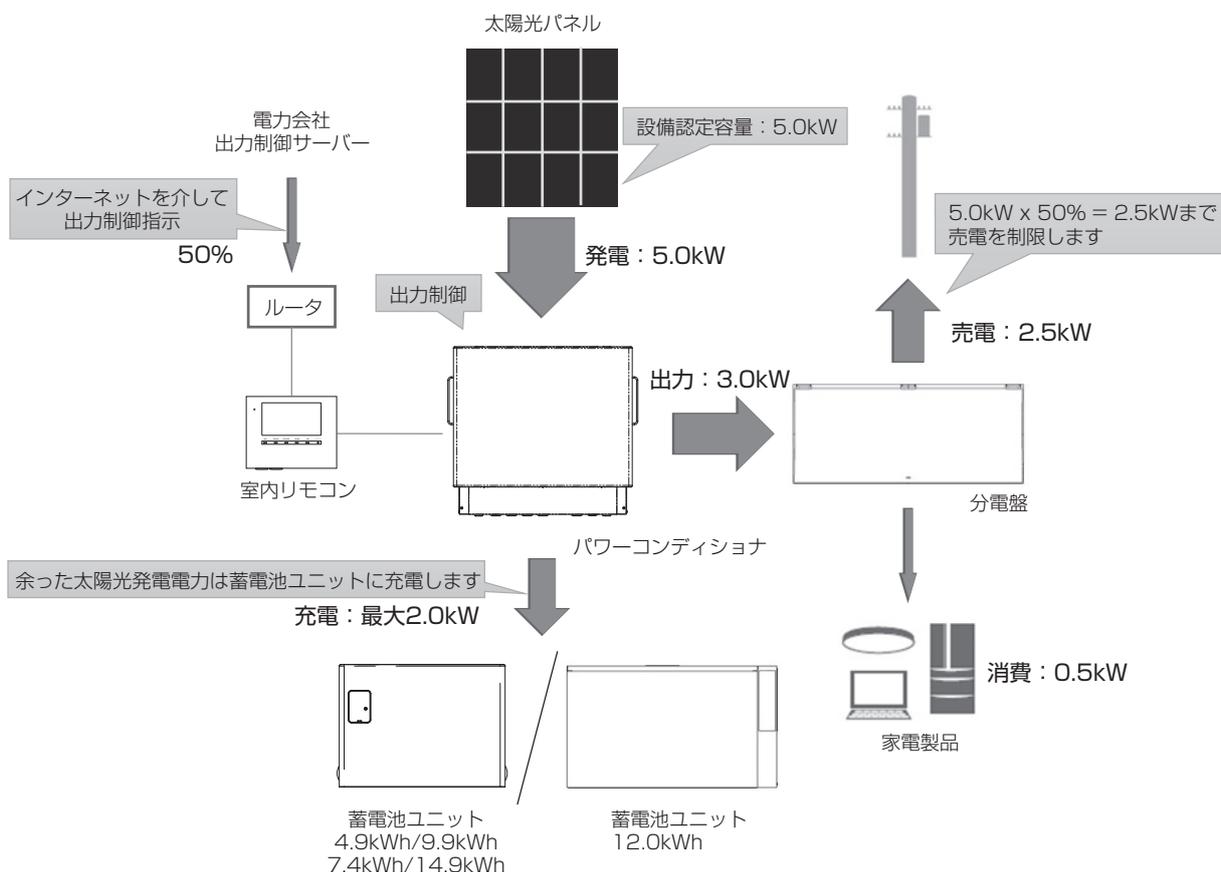
本製品は、電力会社の遠隔出力制御を有効にするために、インターネットへの接続が必要です

インターネットへの接続はお客様のネットワーク環境を利用します。インターネット回線契約・利用に伴う費用はお客様のご負担となります。なお、インターネットへ接続されない場合は、有償での訪問対応作業が必要となりますのでご注意ください。また、今後正式発表される遠隔出力制御の仕様によっては、機器のソフトウェア更新の他に、有償での対応作業が必要となる場合があります。

詳しくは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

例：出力制御指示が50%の場合

本製品の設備認定容量の50%まで、太陽光発電電力の売電が制限されます。本製品の設備認定容量については、「太陽光発電設定を確認する」(34ページ)を参照してください。



※ 太陽光発電の電圧上昇抑制や遠隔出力制御について

システムの様々な状況による電圧上昇抑制や、電力会社による出力制御要請により、太陽光発電の余剰電力の一部を売電できない場合があります。売電できない余剰電力は、お客様が設定した充放電時間内であれば蓄電池へ充電を行いますが、満充電の場合は充電しません。

仕様

パワーコンディショナ

型番 ^{※1}	ES-T3*	
外形寸法	W685 × H648 × D239 mm (取付金具含む, 突起部含まず) W685 × H542 × D237 mm (取付金具・突起部含まず)	
本体質量	53kg (取付金具含む) 44kg (取付金具含まず)	
系統連系出力	電気方式	単相 2 線式 (接続は単相 3 線式)
	定格出力	5.9 kW
	定格出力 (蓄電池ユニットのみの場合)	3.0kW(ESS-T3S*/ESS-T3M*/ESS-T3F)、 4.0kW(ESS-T3L*/ESS-T3X*)
	定格出力電圧	AC202 V ± 12 V
	定格周波数	50 または 60 Hz
	定格力率	逆潮流時: 0.95 (標準値) 順潮流時: 1.00 (0.95 以上)
	電流歪率	総合電流歪率: 5 % 以下 (定格出力時) 各次電流歪率: 3 % 以下 (定格出力時)
自立出力	電気方式	単相 3 線式
	定格出力	5.9 kVA (片相: 3.0 kVA)
	定格出力 (蓄電池ユニットのみの場合)	4.0kVA(ESS-T3S*/ESS-T3M*/ESS-T3F)、 5.0kVA(ESS-T3L*/ESS-T3X*)
	定格出力電圧	AC202 V ± 12 V / AC101 V ± 6 V
	定格周波数	50 または 60 Hz
インバータ	変換方式	連系運転時: 自励式電圧型電流制御方式 自立運転時: 自励式電圧型電圧制御方式
	スイッチング方式	正弦波 PWM 方式
太陽光発電入力	接続方式	マルチストリング方式
	制御方式	最大電力点追従制御 (MPPT)
	入力回路数	4 回路
	開放電圧 (接続可能上限値)	DC450 V 以下 / 1 回路 ^{※2}
	短絡電流 (接続可能上限値)	15 A / 1 回路 ^{※2}
	MPPT 制御可能電圧範囲	DC50 V ~ 425 V / 1 回路
	太陽光発電 起動 / 停止 電圧	起動時: 50 V / 停止時: 30 V
	最大入力電力	2.2 kW / 1 回路, 8.8 kW / 4 回路
	最大動作電流 (接続可能上限値)	13.5 A / 1 回路 ^{※2}
	接続可能容量	2.5 kW / 1 回路, 10.0 kW / 4 回路
変換効率 (系統連系時)	太陽光 (放電時)	95 % (定格出力時) ^{※3}
	蓄電池 (放電時)	94 % (定格出力時)
	EV (放電時)	91 % (定格出力時)
定格出力可能時間	系統連系時 (4.9 kWh)	88 分
	自立出力時 (4.9 kWh)	53 分
	系統連系時 (7.4 kWh)	135 分
	自立出力時 (7.4 kWh)	98 分
	系統連系時 (9.9 kWh)	131 分
	自立出力時 (9.9 kWh)	109 分
	系統連系時 (12.0 kWh)	205 分
	自立出力時 (12.0 kWh)	176 分
	系統連系時 (14.9 kWh)	200 分
	自立出力時 (14.9 kWh)	164 分
絶縁方式	非絶縁トランスレス方式	
冷却方式	強制空冷方式 ^{※4}	
不要輻射	VCCI class B 準拠 ^{※5}	
運転時騒音	40 dB-A 以下 ^{※6}	
防水 / 防塵 保護等級	IP36, IP46 (水抜き穴, 吸排気口を除く場合)	
設置環境	設置条件	屋外, 標高 2,000 m 以下, 重塩害非対応 (-30 ~ +45 °C)
	動作温度	-20 ~ +40 °C

※1: パワーコンディショナはシリーズ品です。型番の "*" には英数字が複数桁入ることがあります。

※2: モジュールの温度特性および接続状態 (直並列) も含めて満足するようにしてください。これらを満足しない太陽光発電パネルは本製品に接続できません。

※3: JIS C 8961 に基づく効率測定方法による定格負荷効率を示します。

※4: 動作中はパワーコンディショナ内蔵ファンの動作音が発生します。壁との距離等、設置環境により音の間こえ方が異なることがあります。

※5: 電波障害となる場合がありますので、ラジオ、テレビ、アマチュア無線等の電波を利用する機器とは 3m 以上離してください。

※6: JIS C 1509-1 で規定する A 特性サウンドレベルを示します。製品正面中央から 1m、高さ 1m の距離での測定値です。

蓄電池ユニット

型番	ES-T3S* ^{※1}	ES-T3L* ^{※1}	ES-T3M* ^{※1}	ES-T3X* ^{※1}	ES-T3F1
外形寸法	W540 × H418 × D230 mm W585 × H439 × D259 mm (屋外設置オプション利用時、突起部含まず)				W760 × H495 × D525 mm
本体質量	50 kg		61 kg		170 kg
蓄電池公称容量	ES-T3S*: 4.9kWh ES-T3S*+ES-T3L*: 9.9kWh		ES-T3M*: 7.4kWh ES-T3M*+ES-T3X*: 14.9kWh		12.0 kWh
蓄電池初期実効容量	ES-T3S*: 4.2kWh ES-T3S*+ES-T3L*: 8.6kWh (JEM 1511 による)		ES-T3M*: 6.4 kWh ES-T3M*+ES-T3X*: 12.9kWh (JEM 1511 による)		10.1 kWh (JEM 1511 による)
電池種類	リチウムイオン蓄電池				
電池セル定格容量	3.75 Ah				35 Ah
電池構成	1 モジュールあたり 28 直 6 並 全 2 モジュール直列構成		1 モジュールあたり 28 直 9 並 全 2 モジュール直列構成		1 モジュールあたり 8 直 2 並 全 7 モジュール 直列構成
蓄電池定格電圧	202.7 V				179.2 V
蓄電池定格入力動作電圧範囲	168 V ~ 228.2 V				140 V ~ 201.6 V
防水 / 防塵 保護等級	IP31/IP35 (屋外設置オプション利用時)				IP31
設置環境	設置条件	標高 2,000 m 以下 屋内: -10 ~ +45 °C、結露なきこと 屋外 ^{※2,3} : -10 ~ +45 °C、重塩害非対応			標高 2,000m 以下 屋内、0 ~ +40°C 結露無きこと
	動作温度	-10 ~ +40 °C			0 ~ +40 °C

※ 1: 蓄電池ユニット (ES-T3S* / ES-T3M* / ES-T3L* / ES-T3X*) はシリーズ品です。型番の "*" には、英数字が複数桁入ることがあります。

※ 2: 屋外設置のためには、蓄電池屋外用ケースが必要です。

※ 3: 蓄電池屋外用ケース利用時でも日光が当たる場所には設置できません。

蓄電池ユニットの充放電仕様について^{※ 1}

本製品は蓄電システムの型番により、蓄電池ユニットの容量および動作仕様が異なります。

構成により充放電可能な電力が変わりますので、家電製品を接続される際は、仕様を確認のうえ使用してください。

蓄電システム型番 (蓄電池ユニット型番)	電池容量 ^{※ 2}	連系時			停電時	
		充電電力 ^{※ 3}	放電電力 ^{※ 3}	充電時間 (目安)	充電電力 ^{※ 3}	放電電力 ^{※ 3}
ESS-T3S* (ES-T3S*)	4.9kWh	2.0kW	3.0kW	3.0 時間	2.0kW	4.0kVA
ESS-T3M* (ES-T3M*)	7.4kWh	3.0kW	3.0kW	4.0 時間	3.0kW	4.0kVA
ESS-T3L* (ES-T3S*+ES-T3L*)	9.9kWh	4.0kW	4.0kW	3.5 時間	4.0kW	5.0kVA
ESS-T3X* (ES-T3M*+ES-T3X*)	14.9kWh	4.0kW	4.0kW	4.0 時間	4.0kW	5.0kVA
ESS-T3F (ES-T3F1)	12.0kWh	2.5kW	3.0kW	4.5 時間	3.0kW	4.0kVA

※ 1: 太陽光発電パネルを 8.0kW 以上接続している場合、グリーンモード運転時の余剰充電は最大 2.0kW となります。

※ 2: 冬季等の低温時は、蓄電池の特性により電池容量が減少します。

※ 3: 動作温度範囲内であっても充放電電力が低下する場合があります。

室内リモコン

型番 [※]	ES-R6*	
外形寸法	W170 × H140 × D23 mm	
本体質量	320 g	
設置環境	設置条件	室内 (0 ~ +40 °C、結露無きこと)
	動作温度	0 ~ +40 °C

※: 室内リモコンはシリーズ品です。型番の "*" には、英数字が複数桁入ることがあります。

※蓄電システムの使用温度範囲について

蓄電システムを安全に動作させるため、パワーコンディショナおよび蓄電池ユニット内の温度センサがそれぞれ指定の値を検知した場合、蓄電システムの動作に制限がかかります。

● パワーコンディショナ

温度範囲	制限内容
-20℃ ~ 40℃	温度が使用範囲外になると待機状態もしくは点検コードを発報し停止しますが、範囲内に戻ると自動的に復帰します。

● 蓄電池ユニット

温度範囲		制限内容
4.9kWh(ES-T3S*) / 7.4kWh(ES-T3M*) / 9.9kWh(ES-T3L*) / 14.9kWh(ES-T3X*)	12.0kWh(ES-T3F1)	
-10℃ ~ 40℃	0℃ ~ 40℃	温度が使用範囲外になると待機状態もしくは点検コードを発報し停止しますが、範囲内に戻ると自動的に復帰します。 なお、温度範囲の上限もしくは下限付近になると、蓄電池保護のため、充放電電力が低下します。特に、温度が低い時は、充電電力が低下します。

ソフトウェアライセンスについて

Ubiquitous ECHONET Lite ライセンス

本製品は、株式会社ユビキタス AI コーポレーションが権利を保有するソフトウェアプログラム Ubiquitous ECHONET Lite を使用しております。

Ubiquitous ECHONET Lite
Copyright© Ubiquitous Corp. All rights reserved.

GPL/LGPL のライセンス

本製品は、一部に GPL/LGPL の適用オープンソースを使用しており、これらのオープンソースに限っては、GPL/LGPL の定めに従い、入手、改変、再配布の権利がお客様にあることをお知らせします。

オープンソースとしての性格上、著作権による保証はなされておきませんが、本製品については保証書記載の条件により、弊社による保証がなされています。

GPL/LGPL のライセンスについては、https://www.nichicon.co.jp/products/ess/user_support.html#anc01 をご覧ください。

増設設置の可能期間

パワーコンディショナ設置後の蓄電池ユニット、増設蓄電池ユニット、V2H システムの追加設置は、2031 年 12 月まで可能です。

(同等品の商品ご提供となる場合があります。)

- 保証期間は、各商品の保証期間となります。
- 増設設置後のシステム型番は、組み合わせにより変わります。

例)

パワーコンディショナ + 蓄電池ユニット (4.9 kWh) + V2H システム : ESS-T3S*V/ESS-T3S*VP/ESS-T3S*VPL
パワーコンディショナ + 蓄電池ユニット (7.4 kWh) + V2H システム : ESS-T3M*V/ESS-T3M*VP/ESS-T3M*VPL
パワーコンディショナ + 蓄電池ユニット (9.9 kWh) + V2H システム : ESS-T3L*V/ESS-T3L*VP/ESS-T3L*VPL
パワーコンディショナ + 蓄電池ユニット (14.9 kWh) + V2H システム : ESS-T3X*V/ESS-T3X*VP/ESS-T3X*VPL
パワーコンディショナ + 蓄電池ユニット (12.0kWh) + V2H システム : ESS-T3FV/ESS-T3FVP/ESS-T3FVPL
パワーコンディショナ + V2H システム : ESS-T3*V/ESS-T3*VP/ESS-T3*VPL

メモ

蓄電池ユニット 12.0kWh (ES-T3F1) には、増設蓄電池ユニット 4.9kWh (ES-T3L*) もしくは 7.4kWh (ES-T3X*) を増設することはできません。

nichicon

京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845

<https://www.nichicon.co.jp>